

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【150】

2. 日時：令和4年4月15日 13時30分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、三浦主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他12名※

電源開発株式会社

原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	規制庁のハツリです。
0:00:08	ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:13	本日の議題は、改良地盤の物性値の設定についてです。よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:22	はい。中国電力のヨシツグでございます。よろしく願いいたします。
0:00:28	規制庁の服部です。それでは本日の説明の仕方について説明をお願いしますどうぞ。
0:00:34	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:00:37	本日の資料につきまして、まず、前回のヒアリングのコメント回答させていただき、そのあと、今回試験の結果と新たな情報がつけ加わっておりますので、
0:00:49	そのあと、新たな情報の試験結果のご説明をさせていただくという順番でご説明したいと思っております。以上でございます。
0:00:57	規制庁の服部です。はい、わかりました。
0:01:00	それでは資料の確認をまずお願いしますどうぞ。
0:01:05	はい。中国電力の江沢です。資料の確認をさせていただきます。
0:01:10	資料提出日は 4 月 12、資料番号N-S奥津新居ほか 056 回 01、指摘事項に対する回答整理表。
0:01:20	そして資料番号N-Sに他 076 回 01。
0:01:25	解析用物性値改良地盤設定方針についてとなります。以上です。
0:01:32	規制庁の服部です。
0:01:33	はい。資料の確認ができましたので、それでは説明を始めてください。どうぞ。
0:01:40	はい。中国電力の江沢です。それでは説明の方させていただきます。
0:01:45	まず、今回の資料の位置付けといたしまして、本来ならば、地盤申請の、
0:01:50	補足説明資料といたしまして網羅的にご説明をさせていただくところでございますが、今回設置許可において申し送り事項となりました、防波壁逆T擁壁の
0:02:00	改良地盤、こちらの室内配合試験の結果が、整理できましたので、まずはこちらをご説明させていただきたく、地盤の申請の後、
0:02:10	おそらく前回のヒアリング資料から更新という形で、
0:02:14	消させていただきました。
0:02:16	また、あわせて前回いただいたコメントにつきましても、現時点で回答できるものについてもご説明をさせていただきたいと考えております。
0:02:30	規制庁の服部です。はい。わかりました。それで、
0:02:34	本日の説明なんですけれども、
0:02:40	申し送り事項。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	についても説明があるということでよろしいでしょうか。どうぞ。
0:02:52	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:02:55	N-Sに他、
0:02:58	056回01の2ページ目に、
0:03:02	今回のご回答の申し送り事項、ナンバー122、ナンバー131のうち、一部の部分について今回試験結果が取りまとまりましたので、今回回答とさせていただきます。以上でございます。
0:03:17	規制庁の服部です。
0:03:19	それと、申し送り事項等、ヒアリングの回答は1問1頭形式でやるということでよろしいでしょうかどうぞ。
0:03:30	はい。中国電力伊佐です。はい、承知いたしました。
0:03:34	規制庁のハツリですはい話を中断させて申し訳ございません。すいません先ほどちょっと確認忘れたので、今確認しました引き続き、説明の方お願いしますどうぞ。ほ
0:03:45	はい。中国電力の伊佐です。それでは前回ヒアリングからのコメント回答をまずさせていただきたいと思います。
0:03:53	回答整理表の9ページお願いいたします。
0:04:02	こちらのAな、左、ナンバー77からは、
0:04:07	前回いただいたコメントに対しましてのご回答となります。
0:04:11	まず、77、改良地盤⑧につきまして今後の物性値の説明方針予定等を記載して説明することといたしましてまとめ資料の方、12ページをお願いいたします。
0:04:32	こちら12ページの表でございまして
0:04:35	前回も開示は⑧につきましては
0:04:39	ご説明させ、使用方ましてご説明させていただくというふうに記載をしておりましたがもう少し具体的に記載をいたしまして
0:04:47	今後補足説明資料地盤申請の補足説明資料についてにおいて、その配置図、解析用物性値の設定方針で試験結果を踏まえた、その物性字、そういったところをご説明する旨を記載いたしました。
0:05:01	以上となります。
0:05:08	規制庁藤川です。
0:05:11	このコメントについては了承としたいと思います。
0:05:17	ただ1点ちょっと関連して、今後説明いただきたいのが、改良地盤⑧について、許可時は薬液注入工法としてたものを、今回その置換候補括弧土質安定所イドに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:30	を採用した理由ってのは、ちょっと今後説明していただきたいなと思いますけれども、よろしいでしょうか。
0:05:39	はい。中国電力の伊佐です。はい。そちらの方も含めてご説明させていただきたいと思います。以上です。
0:05:46	規制庁藤川です。承知しましたよろしくお願いします。
0:05:50	それは次のコメントについて回答をお願いします。
0:05:55	中国電力の伊佐です。続きましてナンバー78、設置許可、
0:06:01	何回かの申し送り事項と、本資料の説明内容位置付けを説明することといたしましてまとめ資料1ページをお願いいたします。
0:06:13	こちら前回、設置許可からの防食事項こちらが、
0:06:18	採取
0:06:19	前段の方に書いていなくてそこがつかわりにくいというところでした。
0:06:24	1ページ目の中段の方、黄色い9着色をしております。
0:06:29	こちらについてですそういった旨その旨記載させていただきました。平均約擁壁率約Tにつきましては、設置許可段階において、
0:06:38	基礎地盤の傾斜が2000部長上回ったというところで、その改良地盤を室内配合試験における3軸圧縮試験、繰り返し3軸試験等により物性値を設定する。
0:06:49	そして次施工におきまして39圧縮試験PS検層により、
0:06:54	その設置許可で設定いたしましたPS検層等に基づく改良地盤の物性値、
0:07:00	この管理目標値を確保できること、
0:07:03	施工に審査においてご説明するという旨を記載させていただきました。
0:07:08	以上です。
0:07:10	あ、規制庁藤川です。
0:07:13	えっとこのコメントについても了承いたしましたので、
0:07:17	回答済みということで、
0:07:19	大丈夫です。ここもですね1ページにいろいろ
0:07:25	経緯を追記してもらって
0:07:28	今回12ページの表3-1の方で各改良地盤ごとに、
0:07:33	物性値設定の経緯とか、おまとめいただいたということでちょっと前回こういう資料がみたいなと思ってたのでちょっとコメント差上げたので、
0:07:41	ここについては了承したいと思います。
0:07:45	それは次のコメントについて回答をお願いします。はい。ありがとうございます。中、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:51	極電カインソダでございます。
0:07:53	続きましてナンバー79、既設改良地盤の既設の時期的な定義を明確化して説明することといたしまして、こちら6ページ、まとめ資料6ページをお願いいたします。
0:08:08	こちらも
0:08:11	6ページの中段、なお、改良地盤については2022年3月31日時点において旬施工済みのもを、既設の改良地盤、
0:08:22	として定義を明確化いたしました。以上です。
0:08:26	規制庁藤川です。ここについてもコメントを了解したいと思います。
0:08:31	それでちょっとこれは記者の適正化の観点で、ちょっと残して欲しいんですけども、
0:08:39	今回新たに追加された12ページの表3-1の方で、ここで各改良地盤ごとに新設既設とかの欄があると思うんですけども、
0:08:49	ここに既設のものについては、いつまでに施行したんだっていう日付、ちょっとそのファクトだけちょっと見ておきたいので、
0:08:57	この表3-1の方にちょっと追記いただいてもよろしいでしょうか。
0:09:01	説明を求めてないんですけどちょっともし何か見て気づくことあればまた確認をしたいと思うんですけども。
0:09:07	いかがでしょうか。
0:09:10	はい。中国電力の江沢です。はい、承知いたしました。磯さんの家の方更新をさせていただきます。
0:09:21	あ、規制庁フジカワで書記ました。では次のコメントについて回答お願いします。
0:09:28	中国電力伊佐です。続きまして80ナンバー80。
0:09:33	新設既設の改良地盤の試験方法、設計値までの経緯につきまして設置許可関係踏まえ、エコーに説明する内容を整理し説明すること。
0:09:43	いたしまして、
0:09:44	まとめ資料12ページをお願いいたします。
0:09:50	はい。
0:09:50	と。
0:09:51	こちら表3-1というところで前回まではですね左の方の改良地盤、既設新設工法、役割までを記載をしておりましたが、今回、右側をつけてA3の表となっております。
0:10:06	そして

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:08	役割のよ、真ん中辺に、真ん中ですね、横の真ん中に、物理設定の経緯というところございまして、ここにつきましては、設置許可でどういう設定をしていたか。
0:10:19	というところを記載しております。
0:10:20	そして、また設工認段階におきまして
0:10:24	どういう考え方で物性値を設定していくかというところを記載させていただいてます。
0:10:30	そしてその右側に、物性値設定施工における物性設定の方法といたしまして、どういった試験を実施するか。
0:10:37	そしてその右側にその試験結果を踏まえて踏まえたその設定方法、
0:10:43	そしてその右、さらにす一番右側にありますけども、品質確認というところで、
0:10:48	日司国の
0:10:51	目的、
0:10:52	とその試験方法を、一連の流れでわかるように整理して記載をさせていただきました。
0:10:57	改良地盤⑧につきましては
0:11:00	こちら、
0:11:01	後日説明ということでまた
0:11:05	説明させてね、ここを追記してご説明させていただきたいと思っております。以上です。
0:11:12	はい。規制庁千田です。コメントについてですね、このような形で整理していただいたということは了承しました。
0:11:23	それで、中身の内容について。
0:11:27	についてはまたちょっと中身確認しながらですね、それでここにですね質問することあると思いますが、一応この形で整理されたということで、今後また表結構大事な表かなと思いますので、また確認をしていきたいというふうに思います。よろしくをお願いします。
0:11:47	はい。一応、倉沢です。はい。ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。
0:11:54	では続きまして、
0:11:58	ナンバー81 になります。
0:12:00	衛藤。
0:12:01	こちら、改良地盤の周囲の地盤状況について確認図を記載して説明することといたしましては、こちら現在ちょっと準備中ございまして後日回答とさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:17	はい。すいません。続きましてナンバー82。
0:12:20	す。こちら置換コンクリートの評価方針及び強度特性設定につきまして説明することというところにつきましてこちら少し後日回答させていただきたいのですがちょっとこちらちょっと記載が、
0:12:32	少し、前回入力地震動の方で、別の
0:12:37	魅力地震とか地盤の支持性能に、
0:12:39	該当F
0:12:41	振り分ける。
0:12:42	際に
0:12:43	の記載と少しね、現在ちょっと違った記載になっております。
0:12:47	こちら、屋外重要土木構造物の評価の方でご説明させていただきたいのですが、ちょっとまだそちらの方のこの回答整理表の資料番号がまだないという状況で、現状はこういった記載になっております。
0:13:01	はい。今後、屋外重要土木構造の方の回答整理表ができたタイミングでそちら、
0:13:07	こちらに規制式に振ると、
0:13:09	A社、
0:13:10	というような記載をさせていただきたいと思っております。
0:13:22	はい、規制庁縦列はわかりました。また今後、説明をお願いします。では次お願いします。
0:13:28	はい。
0:13:29	はい。中国電力の礎です。
0:13:32	続きましてナンバー83。
0:13:34	置換コンクリートに期待する構造物と期待しない構造物、この区別について考え方を説明することといたしまして、まとめ資料ナンバー34 ページをお願いいたします。
0:13:57	こちら4ポツ4の
0:14:00	文章上から3行目からになります。
0:14:02	置換コンクリートのモデル化及び評価方針につきましてその置換コンクリートの形状、周囲の状況等に応じて決定する旨を記載いたしました。
0:14:11	置換コンクリートの幅が、
0:14:14	その時間ゴムの高さと同程度以上、または、隣接構造物、岩盤に囲まれている場合は、
0:14:20	置換コンクリートとしてモデル化をいたします。
0:14:22	ただし、置換コンクリートの幅が薄く、その周囲に梅田が広く存在する場合は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:29	藤構造の耐震評価におきまして、保守的に埋戻動としてモデル化をいたします。
0:14:34	こちらの方につきまして具体例といたしまして
0:14:40	9 ページお願いいたします。
0:14:53	9 ページの図 3-7、
0:14:56	になります。こちら、第 1 ベントフィルタ格納槽の断面になりまして、置換コンクリートの左側の方、埋戻しに接している方について、
0:15:06	注記をつけております。こちらの置換根拠につきましては、埋め戻しとしてモデル化するというふうを考えております。
0:15:14	はい。以上です。
0:15:18	はい、規制庁チギリれず、34 ページに追求していただいた内容っていうのは、これはあれですかね屋外重要土木の耐震安全性評価の中の
0:15:31	ところで隣接構造物とかその辺の許可時にも説明していただいた内容。
0:15:37	踏まえた内容ということで、
0:15:41	よろしいんでしょうか。
0:15:42	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。今、チギリさんがおっしゃられた通りでございます。で、
0:15:49	前回のコメントの中でも仮に失礼いたしました。ただ、置換コンクリートをモデル化する場合についての評価方法、
0:15:58	動圧を軽減している変形抑制を考慮している、そういったコンクリートについての評価方法ですとかその強度の設定につきましては、そういった構造物があるというときに、
0:16:09	あわせて説明をするべきだと考えまして、それについて屋外重要土木構造物の耐震設計方針の中で、改めてご説明をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:16:21	はい、わかりました。先ほど 9 ページで、事例、を示していただいたんですけど、これ以外にもやっぱり該当するようなものがあるのでそれは個別の
0:16:33	施設ごとに、それをモデル化するかしないか、どちらが保守的か保守的じゃないかその辺も踏まえてですね評価していくということで理解しましたので、よろしく申し上げます。
0:16:46	はい。中国電力のヨシツグでございますよろしくようお願いいたします。
0:16:50	はい、では次申し上げます。
0:16:54	はい。中国電力の伊佐です。
0:16:56	続きましてNo.84 になります。こちらにつきまして
0:17:01	後日外係争の中詰め材の改良体につきまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:06	後日回答させていただきたいのですがこちらも防波壁の中でご説明させていただきたいというところですがまだ、そちらの資料番号がないというところで、
0:17:15	今現在こういった書き方をさせていただいております。
0:17:18	以上です。
0:17:20	規制庁の服部ですはいわかりました。少し確認なんですけれども、この後日回答として
0:17:28	回答が空欄になってるものと、他の資料において説明するという二つの種類があると思います。
0:17:36	いずれにせよ後日回答のものについては、以後コメントしませんので、適切に反映していただいてその時説明していただきたいと考えています。ただ一方で、
0:17:46	このコメントの刈り取りなんですけれども、これは、例えば 84 であれば、
0:17:55	浸水防止施設の耐震性に関する説明書の中で、
0:17:58	そこで説明が終わった時点で、
0:18:02	グレーになる刈り取りという印になるのか、もうそこへ持っていくので、今回刈り取りにするのか。
0:18:09	そこら辺中国電力はどのように考えているか説明してくださいどうぞ。
0:18:14	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:18:16	衛藤。
0:18:17	今回ご後日回答で記載しているものにつきましては、中身につきましては
0:18:24	移行先の方でコメント回答させていただきたいと思っております。で、
0:18:29	この資料、地盤の強い性能におけるコメントについてはそれに移行したということをもってこの部分には、グレーハッチングをかけて、
0:18:39	整理をしたいというふうに考えております。
0:18:43	規制庁の服部です。ということはこれについては今日刈り取りということになると、
0:18:48	時間違うんですがどうぞ。すいません。中国電力のヨシツグでございます。まだ
0:18:55	コメント回答の補足今の 84 でいきますと浸水防護のコメント回答になるんですがそれをまだをお出ししておりませんので、
0:19:05	それをお出しする番号と、明確にして、
0:19:09	これに移行しましたと、その日をもって
0:19:13	江藤ご回答ということで、本日はあくまでもまた、こういう方針で考えてますということだけを記載させていただいて、今回はこのまま残るということを考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	規制庁の服部ですはい、わかりましたそうすると。それが説明が終わった後、その時カーもしくはまだその時に説明が終わってなければ、そのこのヒアリング、
0:19:36	確認ができるんですけど、これが終わっていた場合わあ、そこでこのコメントについても、コメントしたことになりますのような形で説明してもらって、
0:19:48	特にここはグレーになりましたというものを説明するわけじゃない。自動的に朱グレーになるということで、そういうふうを考えてよろしいでしょうかどうぞ。
0:20:01	はい。城植草です。はいその認識で結構です。
0:20:05	規制庁のハツリですはいわかりました私どもとしても、一応事実確認した点については、どのように、回答がなされてそれが量だったのかどうかということですね、
0:20:16	整理しておく必要がありますので、少し確認をさせていただきました。以上です次お願いしますどうぞ。
0:20:25	中部電力伊佐です。No.85。
0:20:29	解析用物性値について設置許可との整合を確認して御説明説明すること。
0:20:34	こちら前回のヒアリングにおいてです。
0:20:38	そう。
0:20:39	改良地盤の中で違う物性値を使ってるところがないかというところを確認させていただきましてヒアリング中で、
0:20:46	何防波壁何か収益の改良地盤がそれに該当するそれ以外ないことをまた改めて確認した上でご回答させていただくというふうにしておりました。
0:20:56	その結果確認者結果回答は変わらずで5はいきなり回収量平均の改良地盤のみが対象となります。
0:21:03	こちらの記載している旨をですね
0:21:07	まとめ資料 12 ページの先ほどの、
0:21:12	設置許可段階での記載事項。
0:21:14	のところで記載をさせていただいております。以上です。
0:21:19	規制庁の服部です。はい。わかりました。何点か確認があります。
0:21:26	まず 1 点目は、ここ
0:21:29	埋め戻し度や岩盤の解析を物性値を代表している改良地盤については、
0:21:35	防波壁の直下と、改良地盤 6 があります。
0:21:40	というふうにした上で、回答としては 6 についてしか回答がないんですけども、
0:21:46	防波壁ショッカーに対する回答が、
0:21:50	ここに記載されてないという理由は何でしょうかどうぞ。
0:22:00	申し訳ない。すいませんとこちら中国の伊佐です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:04	防波壁逆T擁壁につきましては
0:22:07	まず最初に
0:22:09	直下埋め戻しとした場合の評価をした後に改良地盤として評価した。
0:22:15	2種類の評価をしております。その中できちんとこの改良地盤として物性値を設定したというところで、今こちらがもう色事項になっていると考えております。
0:22:25	ですねちょっと逆T擁壁の説明につきましてはちょっと省略をさせていただきました。失礼いたしました。
0:22:32	規制庁の服部です。そうすると、この回答だけから見ると、
0:22:37	許可の時は防波壁直管については、
0:22:41	地盤の物性値で代用してるというふうに読めるんですけども、実際はそうではなくて、そのプロセスの中で1回代表したことはあっても、
0:22:53	最終的な評価としては、改良地盤としての物性値で評価してるということなので、
0:23:01	ここに該当がないというふうに理解したんですけどよろしいでしょうかどうぞ。
0:23:06	はい。中国電力さんですはい。その通りでございます。
0:23:10	こちらそういった、すいません、記載が足りてない。
0:23:13	だと思いましたので、少し、
0:23:15	修正させていただきたいと思います。以上です。
0:23:20	規制庁のハツリですはいわかりました。で、内容はわかりましたので、特にこれをコメントとして残すことはしませんけれども、
0:23:30	ちょっとそこら辺がですね、記載としてわかりにくいので、直しておいていただければというふうに思いますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:23:39	はい。中国の岡沢です。はい。
0:23:41	申し訳ありません。修正させていただきます。以上です。
0:23:45	規制庁の服部です。はいわかりましたでは次お願いしますどうぞ。
0:23:49	はい。中国電力、伊佐です。
0:23:52	No.86。
0:23:54	市試験、
0:24:01	会社ナンバー87、新設改良地盤における、申し上げたこちら、10ページになります。
0:24:10	No.87、新設改良地盤における品質確認試験について、3軸試験による査確認の位置付け、プロセスを明確化説明すること。
0:24:19	といたしましてまとめ資料38ページをお願いいたします。
0:24:32	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:32	38 ページになります。品質確認項目というところで
0:24:37	黄色く今回しております。
0:24:40	まず、防波壁逆T擁壁につきましては、設置許可段階において、
0:24:44	基礎地盤の傾斜が 2000 分の 1 を上回るというところを確認したところから、
0:24:49	逆的な改良地盤 1 から 3、
0:24:52	つきましては設置許可段階において設定したPS検層等に基づく改良地盤の物性値、管理目標値が確保されていることを確認する、する目的で実施する。
0:25:02	また、その下取水槽につきましては、
0:25:06	と、
0:25:07	こちらの第 2 パラグラフの 3 行目の方からなります。
0:25:12	改良地盤の実施工におきまして
0:25:16	今回設定した解析用物性値が確保されていることを確認する目的で確認すると。
0:25:21	そして 39 ページに
0:25:25	表 5-3 になりますが、
0:25:27	3 軸圧縮試験を実施すると。
0:25:29	方法として幅にするという旨を記載いたしました。
0:25:33	以上です。
0:25:37	規制庁の服部です。38 ページだ形の説明で、
0:25:43	この該当にするんでしょうか。この、
0:25:46	これについては 39 ページ。
0:25:49	と書いてあるんですけども 39 ページについての説明は、
0:25:52	ないんでしょうか。どうぞ。中国電力の江沢です。申し訳ありません。
0:25:58	39 ページの表 5-3。
0:26:02	こちらで 3 軸圧縮試験を実施すると。
0:26:05	ことで 39 ページのも回答。
0:26:10	該当箇所というふうに記載をしております。以上です。
0:26:15	規制庁の服部です。はい。30、85 万の
0:26:20	については確認をしました
0:26:24	品質確認についての考え方、目標、目的とかその考え方と、品質確認方法として、3 軸もやるんだということがきっちり明示されているので、
0:26:35	このコメントに対しては領分したいと思います。
0:26:38	一方で、
0:26:42	40 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	40 ページ、新たなコメントというか事実確認としてですね確認をしたいんですけども、
0:26:52	可能な範囲でというのがですね前回は最初の 80、
0:26:58	39 ページの方であって、それ 2、ひもづく形で 3 軸の項目がなかったということで先ほどのコメントになったわけですけども、
0:27:11	でも、それ一方で可能な範囲で実施するという方針については、あるということ
0:27:22	で、
0:27:22	これ前にあったものが後ろにきて、少し
0:27:26	市来たからといってそれが量になるということには少しならないと考えています。
0:27:35	可能な範囲でということについての中国電力の事情というのは、前回ある程度説明をいただいているということもありますけれども、
0:27:50	審査においては
0:27:54	確かにそういう
0:27:56	前回聞いたような事情というのはわかる、理解はできるんですが、あくまでも科学的根拠。
0:28:05	に基づいて
0:28:08	核に設計の妥当性を確認することですので、
0:28:16	可能な範囲で、
0:28:17	ということについては、
0:28:19	もう少し詳しく説明をいただいた上で、必要に応じ、よっては審査会合において、この妥当性、
0:28:29	本当にこれ科学的根拠に基づいて判断できるのかということについて確認することも考えています。
0:28:37	それで、こうなさいということとは言えないんですけども、少なくとも可能な範囲でという言葉については、
0:28:46	どういう範囲を可能としているのか。
0:28:49	例えば、
0:28:51	試験その規定された数量があって、それに
0:28:57	満たなくても、その数残ったC、実施した試験の数で、何らかの統計的な観点から、それが信頼性が、
0:29:09	ある数字なんだということも獲られて、それを説明しようとしてるのを可能な範囲としているのか、その可能な範囲でっていう、
0:29:19	考え方をまず、説明をいただきたいと考えています。
0:29:23	で、さらにその可能でなかった場合の対応。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:27	例えば何か代替案があるのかー。
0:29:31	例えば掘って何らかのその違うような、非破壊検査をやるとか、大型3軸のようなことをやるのかいろんな考え方があると思いますけれども、何か代替案があるのか。
0:29:44	それともう、可能な範囲でということでは不可能であれば、
0:29:49	許可における約束をどうも反故にってしまうという考え方も一つあると思いますけれども、
0:29:56	そこら辺をですね、もう少し詳しく説明いただいた上で、
0:30:01	必要に応じては
0:30:07	会合で、
0:30:10	中国電力の考え方、事情も含めてですね、聞いた上で、判断するというのも考えられます。
0:30:19	一方でですね、もう絶対やるんだという強い決意のもとで、もう可能な範囲っていうのは考えないんだ。
0:30:28	ということも考えられます。
0:30:31	はい。
0:30:34	はい。
0:30:35	ですね。すみませんそれでちょっと確認をお願いし説明をお願いしますどうぞ。
0:30:41	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:30:44	江藤可能な範囲でって書いてあるのは前回もちょっとご説明させていただきました通り劇が多いというところもありましたが、まず実施するというのが我々として考えているところでございます。
0:30:55	で、先ほどありましたように、
0:30:58	衛藤麻痺実験をやるんですけれども、その試験の妥当性といいますかその正当性、要はある程度のその母集団、
0:31:08	がないと統計処理ができないというところもあろうと思っております。その辺りが、今後ご説明になると思うんですけれども、例えば、じゃあ、何個でいいのかとかですね、もしくは範囲として、
0:31:20	どれぐらいのボリュームで、どれぐらいであればその品質が確保できるのかと、そういったところは、少し前回もご説明いたしましたけれども合わせて実施する。
0:31:30	弾性破探査の結果ですとか、今回の配合試験の結果とかですね、そういったものを総合的に判断いたしまして、十分現地の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:40	強度が確認できるというものをもって御説明の方考えたいと思っております。で、現状ちょっとまだ現位置でのものができておりませんので、それらの整理ができ次第またご説明の方は考えたいと思っております。以上です。
0:31:57	ここに関しては、多分私のコメントはある程度入っていると思っているんですけど。
0:32:03	可能な範囲でっていう話があって、逆に言うと、文章としては余計かなと思っているので、
0:32:09	気持ちからするとこれは今の段階で、
0:32:12	書く必要はないかなと思ってます。でも 31 件は、
0:32:17	んな。
0:32:18	取れる限り、
0:32:20	取るという姿勢はわかってわかりましたんで、それがわかればあれだと思いません。例えば、
0:32:27	これは
0:32:28	今までの他の審査経験で言うと、
0:32:31	高浜、もう、
0:32:33	地盤改良。
0:32:35	つっても、あそこは浸透効果なんで、固めるないですから、どうせ利益が出てくると採れてこないし相当とったけど、取れた数とか、タカハシれてるってのわかっていて、ここも本来、
0:32:46	スーパーでとか何かの強固なものにしてれば、取れないことはないんだと思うんだけど、
0:32:52	基本的にはここの注入候補なんで、そんなに固まっちはないから、
0:32:57	取れる。
0:32:58	かどうかっていうことですごく懸念をされているというのも理解しています。
0:33:02	そういった中で行ったときに、例えば一つの例として、女川はちょっと異例なんですけど、
0:33:10	例えば、施工試験とかは、最初の事前の試験の段階で、ここで言うと配合試験に関係するかもしれませんが、あそこは供試体が取れないというわけじゃなくて、
0:33:20	できるだけ 30 件、31 件は全部、
0:33:23	できるだけ間引きしたいということで 1 軸で代表できないかっていうことで、これから言いたいのは、例えば、配合試験の段階で再度軸試験はできますよね。今やってないですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:34	そこであると指標値を作っておいて、それとだけ足オチじゃないけど、事前にやっておいてそれと含めた形で、
0:33:43	数が足りなければ、補填するっていう考え方もあるかなと思うんですけど、いかがですかね。大体、
0:33:49	設計値としては、そういう考え方もあるでしょうシモセキサトウ配合試験で決めてるかもしれないですがCφでそれで考えた時に、それと含めて、実質的には
0:34:01	施工で、
0:34:02	部にとったもの。
0:34:04	と抱き合わせて判断するっていう手もあると思うんですよね。
0:34:07	何か方法あると思うんですよ。で、だから、PS検層等、
0:34:12	変形性能と、
0:34:14	今日とって、
0:34:16	関係性がありそうだけど、必ずしもあるとは限らないという世界なんで、なかなかここは難しい話なんで、
0:34:23	せめて1軸とかですけど、そもそもが基本的供試体が取れるか取れないかっていうことで、言ってるんでオガワ土地、
0:34:31	言ってるね、課題が違うと。
0:34:34	抱えてる課題が違うというのは認識してます。そういった中で、
0:34:38	例えば今、そういったことも含めて、
0:34:41	いや、
0:34:42	やれるとしたらやれると思うんですよね。だから必ずしも、
0:34:46	もう僕は多分可能な範囲でって書いたんで、結局、
0:34:51	空襲法ですってことはないんだと思うんですよ。
0:34:54	だから、そういうことを考えれば、あまり可能な範囲でっていうと何か物議可能性を出すような書き方になってしまってるのでそこは何か、
0:35:04	本来、
0:35:06	そちらで考えてる。
0:35:07	書き方に適正化したらいかがでしょうか。
0:35:14	はい。
0:35:15	中国電力のヨシツグでございます。ありがとうございます。ちょっと、我々が考えてるところをですね、もう少しここに記載をするなりですね、ちょっと可能な範囲でというような言葉が
0:35:26	衛藤、ネガティブな表現にもなっているとも思いますので、ちょっと我々が考えているロジックで、この方、記載をもう少し見直させていただきたいと思いません。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:39	規制庁の秦ですはい。わかりました。では可能な範囲でという言葉に対しては中国電力の考えをですね、もう少し明確になるように、説明いただければと思います。
0:35:51	ですので
0:35:56	87 番について、
0:35:58	では了としまして、新たなコメントとして、
0:36:05	考え方を説明してくださいというコメントで、
0:36:07	回答をいただきたいと思います。では次お願いしますどうぞ。
0:36:13	はい。
0:36:14	中央辺力の諏訪です。
0:36:17	No.88 になります。
0:36:20	取水槽南北断面の地盤改良範囲。
0:36:24	について
0:36:26	のコメントとなります。まとめ資料 8 ページ、お願いいたします。
0:36:35	まとめ資料 8 ページ、図 3-6 で取水槽の南北断面の
0:36:41	絵を載せました。こちらで解除⑦の範囲を来ております。以上です。
0:36:50	あ、はい、規制庁チギラです。図、断面を追加していただいたということについては了承したいと思います。
0:36:57	それちょっと確認なんですけど、この取水槽の
0:37:03	前カクダクト分のところですかね、
0:37:07	改良地盤⑦が来るところっていうのは、ちょっと複雑な形状になってるんですけどここは施工するにあたって何か配慮事項というか特に問題なく施工できるのかどうか、その辺りちょっと念のためちょっと確認させてください。
0:37:26	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:37:30	はい。衛藤。
0:37:32	ここににつきましては今回高圧攪拌工法を考えております。で、
0:37:36	下側にですね、ここに書いてありますけれども取水、
0:37:41	RAWとあと取水管が通るところで、そこについては一応コンクリートで被覆をしております。
0:37:48	で、こういった既設の構造物があるところでございますので、事前にこういった深さにあるのかっていうものをもう少し確認しながら、現地の施工を十分配慮しながらやっていくということを今考えております。
0:38:01	以上でございます。
0:38:03	はい。規制庁寺井です。説明わかりました十分配慮されるということで理解しました。コメントについては了承したいと思います。では次お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:16	はい。条件カイツダです。続きましてナンバー89、
0:38:22	既設及び新設の改良地盤についてG倍G0 $\gamma$ -Aについての試験を実施すると記載して説明すること。
0:38:29	まとめ資料 14 ページをお願いいたします。
0:38:40	こちら改良地盤に関する試験項目を記載しておりまして、
0:38:44	表 4-1 の中ほどに繰り返し 3 軸試験の記載をさせていただいております。
0:38:50	こちらの左項目としましてGyG0 釜関係を確認するというものを記載いたしました。
0:38:57	ことで、同様の、こちら既設の改良地盤の記載となっております、24 ページ、
0:39:03	の方もこちら新設の改良地盤、
0:39:07	になります、指標 4-4、
0:39:10	同様にGy0 釜の
0:39:13	記載をさせていただきました。以上です。
0:39:18	規制庁植竹です。ここに関しては、実施されるところで理解しました。
0:39:24	で、32 ページに多分、その結果として、線を引かれているんですけど、
0:39:31	これはあれですか、
0:39:33	線ひいてる 5010203 のこの選定。
0:39:37	これはハーディンドルネビッチ。
0:39:39	ということよろしいですか。
0:39:41	例えばそのハードルリッチでこういうフィッティングをしてっていう話。
0:39:46	のその説明っていうのは、
0:39:48	どこかでまた説明されますか。
0:39:53	例えば、その接合するのに、
0:39:57	基準非既存ひずみをどの程度にして当該のピッティングにしてるっていう話。
0:40:02	で、PHITSの、いわゆるハードどっちの式でそのモデルとしての妥当性ってある程度説明しないとイケないと思うんですけどよね。
0:40:12	妥当性というか適用性なんじゃないかね。うん。
0:40:15	この辺ってまた別説明であると考えています。
0:40:18	それであれば、しないんだけど、
0:40:21	うん。
0:40:23	基本的には、
0:40:25	多分、
0:40:27	うん。
0:40:30	今後また説明はいただくと思うんですけど、これを入れて試験項目として入れていただきましたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:38	今この
0:40:40	ひずみのそのフィッティングの考え方だとか、どこまでフィッティングさせとけばいいんだとか。
0:40:46	基本的にはね、有効の解析で全部やるとしてもね、当然、地下水より上の部分があって、その部分っていうのは基本的には、
0:40:55	要素単位が指定する。
0:40:58	液状化特性として液状化、
0:41:01	当初はオフをフラップがあるんですよね。
0:41:04	いわゆる線形性を液状化特性で、
0:41:07	判断しない。
0:41:09	通常の全応力と同様な、自然計数単なる電力と同じような非線形性、要はハードの道で、
0:41:16	地盤の変形や応答を、を、
0:41:20	解析解析する要素もあるわけですよ。
0:41:24	モデルの中でその時に、
0:41:26	基本的にここは特に関係してくるんですよね。それもあって、女川ではちょっと整理していただいたんですよ。
0:41:33	ここはねまだね、ごめんなさい。改良地盤っていうこと。
0:41:38	なんで、かなりひずみ領域は、
0:41:42	途中なってるんだよね。
0:41:45	ではちょっと違って、Web仕事で終わっていて、ちょっと壊れてんじゃないかとか、いろんなことを議論されて、
0:41:52	相当時間かけてやったんですけど、ちょっと今日聞きたかったのは、
0:41:59	本来説明をもっと後です。お知らせが関連してるので申し上げますと、
0:42:05	単純に言うと、今このひずみとして大体 1%、
0:42:09	0.1%か 0.1%のところ、
0:42:12	止めてるんですけど、これをまず 0.1%に留めた理由って何なんですか。
0:42:20	はい。中国電力の江沢です。
0:42:22	はい。こちらにつきましてはやっぱりですね、今回、この改良地盤、
0:42:28	大分硬いものになっております。土とかであればですねもう少し大きなひずみまでいけるんですけども、
0:42:35	今回鹿島こちら、
0:42:38	繰り替え 3 軸試験を実施しましたが、ちょっとここぐらいのひずみまでしかちょっとできなかったというのが現状でございます。わかりました。いわゆる、あれですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:49	ジャッキの圧力みたいなもので、上限を超えているからここまでしか止まってないっていう、多分ですね今後、ここについてコメント出してもいいのかな、ここで。
0:42:58	さしてもらおうと、多分すなぜこ
0:43:01	今言った話で、基本的に、なぜ
0:43:05	もうひずみのところで止まっているか、朝、割と他の。
0:43:11	願んなんだらう。高井地盤ですよ。表層地盤系のものと比べて、なぜこのひずみ領域で、
0:43:18	止めている理由で、大事なものは壊れていないこと。
0:43:23	いわゆる、
0:43:24	壊れたことによって、もう測定できなかったとしたならば、そこから出てきた応答ひずみのその先のところはもう全部壊れたとして判断しなきゃいけないっちゃうので、
0:43:36	府、例えば、
0:43:37	その辺の話ってあるてどう。
0:43:40	女川でも多少やっけていて改良地盤じゃないんですけど、いわゆる、
0:43:45	キョウシタイ
0:43:46	て写真試験後とかからとってますよね。
0:43:51	地盤会社からの報告書ってその中で、
0:43:55	当然壊れてない。
0:43:57	かどうかっていうことを確認する。
0:44:00	一つすべきだと、ということとその理由ということで、
0:44:03	明確の理由を述べていただいて、実際には、
0:44:06	この時点では壊れていなかったんだと。
0:44:09	ということですね。火で実際に、
0:44:11	改良地盤としてせん断ひずみって考えた時に 30 分しかないんでしょうけど、3 軸でいった時にこのせん断ひずみと軸差、歪ってなかなか、
0:44:20	符合させるのが厄介なんだけど、それで考えたときに大体、赤井の領域はこの辺だから実際にこの辺では随分壊れていないということを説明できる必要があるだろうし、
0:44:31	それでもって言って、実態に、
0:44:35	今ここまで、
0:44:36	しかも止まってないでその先ってガイソウなっちゃうんですよ。外商でEUっていう高津区ウメキ妥当性として確認しないといけないんで、
0:44:46	飯村で生まれて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:48	そのあと分ますから、
0:44:50	その下の外挿してることの妥当性っていうことを説明する上で、
0:44:56	例えば、
0:44:59	実際に、
0:45:00	使ってるところがそうはいつでも、
0:45:03	知見がえられてる範囲なのかというのも、ちょっと僕らわかんなくて、
0:45:08	これらの説明をしてくれた上で自園岩相の部分は、
0:45:13	無視してもいいのかどうか、設計上ですね、この辺もちょっとわからないので、
0:45:18	この辺もちょっと説明は、
0:45:21	今後加えていただきたいなと思います。
0:45:24	ちょっと待ってね。
0:45:25	書いてもらってよろしいですか。
0:45:29	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:45:32	まず試験の結果の中身でございますとか、状況、
0:45:38	によってこうなっているというところについてはこの地盤の申請の中でまずご回答させていただきたいと思っております。で、
0:45:45	解析結果ですね、実際どこまでのひずみが出ているとかですね、そういったところは、
0:45:50	衛藤。
0:45:51	はい。となりますので、ちょっとそれは、この
0:45:55	タイミングがいいのかこのタイミングがいいのかちょっと、二段階に分けてご説明をした方がいいかなと思っておりますので、まずちょっと、説明の時期も含めて、考えたいと思います。以上でございます。
0:46:07	規制庁の服部ですちょっと1点だけ、事実確認だけさせていただきます。
0:46:12	今回の
0:46:15	地盤改良 010203 の磁場時 0 とか 1 γ は、
0:46:21	これは、
0:46:22	供試体チート 2 の結果をもとに、
0:46:26	さ、フィッティングさせたものなのか。
0:46:29	それとももともと等、
0:46:32	別途、す。
0:46:35	キョウシタイを實際できてるものを、カラーキョウシタイをとって、
0:46:40	それーでやっ。
0:46:44	その結果からフィッティングさせたものなのか、ちょっとそこら辺の事実確認だけさせていただきますどうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:55	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:46:58	今回キョウシタイ 12 はそのままの結果がプロットされておりましてこの破線、あと実線につきましては、
0:47:05	衛藤。
0:47:06	この当初設置許可で考えておりました。その次はG0、それとまず、フィッティングをさせて、
0:47:14	いるというところが、こういう状況でございます。で、
0:47:18	もう少し言いますとこの、本来のこの試験結果から出てくる剛性というのは、もう少しちょっと他、上がってくる。
0:47:27	平均ですので上がってくるんですけども、それを下回ってる、下回るとか、下限、もしくは大体同じぐらいのところ今の
0:47:34	セキュリティ持ち、当初設置許可でご説明してる時はG0 のものと間を 2 たような傾向になっているといったところが、この資料上の位置付けでございます。以上でございます。
0:47:46	規制庁の服部です。ということは、
0:47:49	今回の室内試験の結果で外挿したわけではないということなんですよねどうぞ。
0:47:55	はい。中国電力のヨシツグでは、その通りでございます。で、このデータを用いて、一次モデル用いてやるということも可能なんですけれども、そうすると、
0:48:06	よりは、今ここでお示してるのはあくまでも設置許可でのオチ当初、
0:48:12	考えていた、
0:48:14	一次モデルによる曲線をお示しているというものでございます。
0:48:19	規制庁のハツリですはいわかりました。ちょっと事実だけ確認しました。
0:48:29	エザキですけど、もう一度設定をして欲しいんですけど、今の話で、これは設置許可の数値でそれぞれで確認として示していると、いうことは理解しました。
0:48:39	その中で設計にっていうか購入設計の段階では、今、どうされてるんでしょうか。
0:48:46	稼働される方針なのかっていうだけちょっと教えてください。
0:48:54	はい。中国電力のヨシツグでございます。購入設計では、
0:48:58	後程またご説明、VSのから次の考え方というのをご説明させていただきますけれども、
0:49:05	この衛藤。
0:49:06	今の書いてある曲線で御説工認設計の計算をしていきたいというふうに考えております。以上です。
0:49:14	規制庁の江崎です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:15	であるならば、これを使えるという説明が必要だと、設計として、
0:49:21	大事なものは、多分設計なんで、安全であること。
0:49:25	だけど、何に対して安全でやるのかというのが十分になって、例えば機器に対してなのか。
0:49:31	10、単なる施設、
0:49:35	土木構造物だとか、防潮でだけだとか。
0:49:39	それに対して、なぜにそれが安全なのか。
0:49:43	使えるのかっていう説明が要るようになってこれで行くと、
0:49:47	多分、
0:49:48	由良神野は評価してるんですよね。多分、
0:49:53	供試体 1 共済につて多分深さ依存性じゃないけど、位置によって変えているという話ではあるけど、
0:50:00	D0 を正規化したことで大体そんな大きな差がないだろうということでこう重ね書きしてんだと思うんですよね、言ってる意味は。
0:50:08	そもそも改良 10203 もそれも同じ話で、逆に言うと分ける必要があるのかっていう話があるぐらい近似してるわけで、
0:50:17	うん。これって、あくまでポストとか何かなんかのあれですよね。
0:50:22	確か、そのものの物質じゃなくて代表してんじゃないでしたっけ。
0:50:30	はい。
0:50:30	はい。すいません。あ、ごめんなさい中国電力の伊佐です。それと先ほどヨシツグの説明。
0:50:36	はい。
0:50:37	すいません。せ、この設置許可と申し上げましたが防波壁で設定した
0:50:43	設置、改良地盤の自賠時になってます。
0:50:46	今回例えばですね、
0:50:50	木曾。
0:50:57	はい。19 ページになります。
0:51:01	設置許可で設定していった
0:51:05	配布された物性値コニシつきましては、
0:51:08	藤と掘削ズリで計決めていたディーゼルとなっております。
0:51:14	ちょっとこっち先ほどちょっと、少し
0:51:18	少し混同するような、そう御説明だったかなと思うんですけども、こちらではその防波壁が設定した改良地盤、こちらのG売 0 とほぼ変わっていないという状況でございます。
0:51:34	多分ですね、これフェアにやろうとしたら、多分、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:40	やられた実験結果。
0:51:42	ただ平均値的なものを引くわけですね普通ね。
0:51:46	これしかなかった。
0:51:48	それと比べてどうなのかっていう話かなという気もするんですがいかがですかね。
0:51:53	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。おっしゃられる通りだと思えますので、
0:51:58	ちょっと
0:52:00	今我々が、
0:52:01	考えているものと、この実験でられたもので、平均ぐらいなのかそれとも少し粗めのものを設定しようとしているのかその辺がわかるような資料をちょっと、作成をして、またご説明したいと思います。はい、わかりました。うん。平均値を使う。
0:52:17	僕もあるでしょうし下限値っていうのもあるでしょうし、耐震設計上、
0:52:22	オオノに対して安全かという観点はあるけども、それが明確、
0:52:26	にしてあれば設計としては、
0:52:28	どうあるべきかっていうのが、
0:52:31	いわゆるあと基本的な設計として、
0:52:33	それが、うん。
0:52:35	うん。
0:52:36	感度があるかないかって大きくて、でも感度はあるかもしれませんが、でもそれは準表層地盤でもないから、
0:52:43	そんなに感度はないのかもしれない。どっちかっていうと受ける方、
0:52:48	アクティブな方じゃなくてどっちかパッシブに近いような、使われ方してるので、そんなに
0:52:54	あれかもしれない。感度はないかもしれないですよ。そういったことも踏まえてですね。
0:53:00	うん。ある程度整理いただければと思います。
0:53:04	で、内容としてちょっと僕もちょっと勘違いしたんですけど、
0:53:08	この辺が今、服部が言ったようにですね、設計値として、設計にどこをどうやって反映していこうとしていることはちょっと、
0:53:17	全体数読み取れなくて、単なる
0:53:20	初めは、この①②③って書いても変だなと思ってたんですけど、
0:53:24	あくまでも、この実験材料実験に対してこういうようなグラフ。
0:53:29	沖設計として近似してる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:31	ていうふうを考えていて、
0:53:34	それにしても、
0:53:36	こんなに三本を引く必要ないように、何か 1 本でもいいよなという気もするし、 そういうことが、
0:53:42	考えると、いいとか悪いじゃなくて、どういう話をここでしようとしてるのがは つきり言うと、いろいろな解釈しちゃってるから、僕らともう、だから、
0:53:53	いわゆる 1 様々に読み取り用がたくさん出てきちゃってるから、うん。
0:53:58	ていうと、書き足りてないんだと思う。わかりますやろうとしている方そちらが述 べたいと。
0:54:05	趣旨が伝わってこっちへ伝わってきてないんだと思うんで、そこはやっぱりちゃ んと書くべきことを、いわゆる最終的に何をやって、
0:54:13	どういう考え方で、
0:54:15	設計条件を、
0:54:17	を決めたんですかってそこが議を重要なんで、それがちゃんと
0:54:21	わかるように、
0:54:23	していただければと思うんですが、いかがでしょうか。
0:54:29	中国電力の清水ですちょっとすいませんコメント回答の 1 号イトウ形式です ねご説明してたところがありまして資料上我々なりにはそこは解析用物性値を どう設定するというのをですね一応、
0:54:43	この一文 1 頭が終わった後にですねご説明させていただこうと思っております ので、ちょっとまず、途中の段階で各論に入ってきてしまってるのでちょっとわ かりにくいところあると思いますけど、
0:54:54	どうしましょうか 1 問 1 等進めさしていただいてそうですねそうじゃそこにもう 1 回のときにもう 1 回振り返りましょうか。わかりました。そうしましょう、そうして いただけると助かります。
0:55:19	すいません続きましてポイントカードに戻らせていただきます。
0:55:24	江藤都築ナンバー90 にあります、品質確認を実施する時期を記載して説明す ること。
0:55:30	ということで
0:55:32	まとめ資料 1 ページお願いいたします。
0:55:41	こちら
0:55:46	はい。中段の第 3 パラグラフの一番、
0:55:51	最後の行となります。
0:55:53	一番 1 から 3 につきましてはPS検層等に基づく物性値が確保されてることを 説購入審査、こちらで説明するというを明記させていただきました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:04	そして 40 ページ、
0:56:06	にもありますが、
0:56:09	事故等ですね
0:56:12	確認、
0:56:14	40 ページの一番最後の文章行となっております。こちらの品質確認結果につきましてはその進捗合わせて、補足説明資料の中でご説明させていただくということを記載させていただいております。
0:56:27	以上です。
0:56:32	江崎です。これはこれで結構です。
0:56:49	すいません。ありがとうございます。はい。
0:56:51	中部電力財津続きまして、No.91 お願いいたします。
0:56:58	JAGS2564 校長ハタそうですね、のAの妥当性の観点でPS検査とどう。
0:57:05	早速ドガで同等であるということを説明することといたしましてまとめ資料 31 ページをお願いいたします。
0:57:17	はい。
0:57:18	31 ページの
0:57:20	下から 1、
0:57:22	6 行目ぐらいからとなります。こちら今日の文献に関するしまして
0:57:27	引用して持ってきております。
0:57:30	こちら
0:57:32	速度検査によるセメント系地盤改良評価について、そういった文献がございまして、
0:57:37	高速道路の、地盤改良工事を対象として、業者のS波速度、現地におけるS波速度、
0:57:44	そっちの関係を
0:57:46	確認されております。こちらが表、その下の図 4-12 となっております。
0:57:51	こちらを見ますと、
0:57:53	横軸は供試体のS波速度、縦軸が現場の技術課が選びたい早速となっております、
0:58:01	現場の現地における速度というものは影響主体のS波速度の 0.4 倍から 1.11 倍、大体同等、そういった関係は精通していること。
0:58:13	説明、記載しております。以上です。
0:58:19	規制庁、矢崎です。もう最後の文章で、0.4 から 1.0 の関係が成立している。
0:58:25	一応閉じちゃっているんですけど、もともとの目的ってこれ、コメントし、指摘の趣旨って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:34	いわゆる
0:58:36	ちょっとPS検層等、その違い、室内試験等と比べて遜色がなく使えるんですよねって、それを説明してくださいって言うてるんで、そこの答えが書かれていないっていう。
0:58:49	データで 0.21 から出てようんってるんだけど、0.4 になっちゃいけないわけ。言い訳とその設計として、
0:58:56	最終的に設計に用いるものだから、設計のD用いる上で、
0:59:03	1 を超えたらいけないのか、一応、ある程度下回ってる範囲だったら、
0:59:07	それは、この試験法が使えるとして判断するのか。
0:59:12	その辺、どう考えられ考えられてますか。
0:59:17	中国電力の伊佐です。こちらのご回答につきましては
0:59:22	コメントの 92 番の
0:59:25	にも関わるところだと思います。
0:59:27	92 番の方では
0:59:30	新海坂東 1000 男性頸椎提出に試験結果。
0:59:33	基づいたブース設定することに関してご説明する、説明することと、
0:59:40	今回ちょっと少し試験結果を後程説明させていただく。
0:59:47	こう思っていましたササキ。
0:59:49	少しご説明させていただきますと、
0:59:51	27 ページお願いいたします。
0:59:59	こちらは今回室内ご試験でられたA、S波速度ということで、
1:00:06	表 4-8 下の方になりますが、
1:00:09	こういったVS替えられております。
1:00:11	平均S波速度としましては、1680 とか 1080、そういった非常に高いウエスギられたという状況でございます。
1:00:19	それに対しまして
1:00:24	まとめ資料 25 ページをお願いいたします。
1:00:29	今回設定しようとしている、設置許可における、S波速度になりますが、こういった 400 から 610 という値となっております。
1:00:38	先ほど済みでいただいた、27 ページに、例えば、一番、
1:00:43	保守的な、0.4 アビルの文献 0.4 を掛けます掛けてもですね
1:00:50	五、六百 1608 だろ。
1:00:55	700 近い値になると思います。
1:00:58	こういった観点からも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:00	設置許可の部っす示した生産速度というのは十分確保できるかなと思っておりまして、こちらの物性値を使って設定したいと考えております。
1:01:09	規制庁の土岐です。27 ページの表の 4-8 って、室内のその配合試験、
1:01:15	の結果で、
1:01:17	これから作る公認用の設計値を求めるといフェーズですよ。だから、実際にはそのあとをいわゆる品質確認試験、PSケースを確認するから、
1:01:28	もう、さらに、
1:01:31	高いものが出てくるということだけでここで今確認試験の話ではなくて、
1:01:36	ここは室内試験でやったものは、設計値を用いる話で、
1:01:40	いわゆる品質確認としてやって、いわゆる
1:01:48	設置許可、
1:01:50	でやっていたことの妥当性っていうのは、どっちか日露、あれだよ。ね。
1:01:57	品質確認試験でやっていくんじゃないですか。
1:02:02	だから、
1:02:04	違うんだっけ、位置付けが。
1:02:07	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:02:09	今回、
1:02:11	まず今日主体でのS波速度も諮らしていただきました。今後現地でもですねP S検層を図っていくことになる、やっていきます。
1:02:20	で、実際の供試体配合試験の供試体と現地のSの関係というのが、その時点でわかると思っておりますし、現地でも 35 とりますので、39 の強度とか、
1:02:33	Vsの関係というのも、
1:02:35	その時点でわかってくるんじゃないかと思っておりますんで、それは品質確認、施工管理という観点でそれを用いるということになると思っております。以上です。私は言ってるのは、室内試験の
1:02:47	主たる目的は、
1:02:49	工認、
1:02:50	設計するための設計条件を、を確定させるためにやった試験ですよ。ね。
1:02:57	そうですね。
1:02:58	だから、今層を、
1:03:01	この場でね、基本的にその設置許可の話をしなくていい、よくて、もともとお話はそれを置いときますね。私が聞いている趣旨は、
1:03:12	いわゆる工認設計で使おうというしている。
1:03:15	設計用の物性値として、
1:03:18	求める試験法として妥当なのかということを知っている、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:23	だから、今、
1:03:25	一対一で対応してればよかった、いいんだけど論文もだけど、そうではなくて、0.4の可能性もあり得るっていう。
1:03:34	見解だったんですよね。そう、その0.4なった場合、
1:03:38	じゃあその設計的に考えたときには、
1:03:42	やはりPS計装を求めないと駄目だっていうことで、
1:03:46	あるのか。
1:03:47	ちゅ中国電力の見解は、
1:03:50	そうではなくて、0.4カトウになったとしても設計的に、
1:03:54	安全側になってるから問題ないと考えているのかその見解をちゃんと
1:03:59	示してくださいと言ってるんですが、
1:04:03	この中国電力の国井クニシですみません、ちょっと混乱させてしまって申し訳ないんですけども、我々この配合試験というのは設置許可でお示しを約束した物性を、
1:04:14	ちゃんと出せるということ、まずは曲を除いた配合試験で、今回確認をさせていただいたとその上で、最終的に工認設計については、その設置許可でお約束した物性以上のもの。
1:04:29	が出せるという確認を踏まえて、
1:04:31	設置許可でお示した物性、ここで言えば、
1:04:35	改良地盤123の構成があったと思いますが、それで設計をさせていただくということを考えておりますんで、先ほど江崎さんもおっしゃったように3軸の強度とPSの関係っていうのはなかなか難しいところがあると思っております、
1:04:50	まず、
1:04:52	違って、
1:04:53	瀬崎がすれ違っていて、そもそも今私言ったのも31ページに、
1:04:58	その関係が政治。
1:05:00	しているとしているで終わってるから、結論がないよねっていう話をもととしていて、だけどそれって、もともとこれ、つく、これをやる目的が、
1:05:10	設計条件を固めることが主たる目的ですよ。そだから、
1:05:16	そういった観点から、結論を述べて欲しいなって言ってるだけなんですけど、簡単に言うと、何か、
1:05:24	話はわかりますか。
1:05:45	中央電カイソダなります。磯田です。31ページの、括弧B動せん断弾性係数D NAとかありましてその下の文章4行目が、
1:05:56	まずちょっとその結論となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:01	今回自慢に衛星解析抑制としてせんサイショ用いれササキにつきましては、
1:06:07	画質配合試験確認されたこのVs、
1:06:10	設置許可で設定した。
1:06:12	も十分あることを確認したことから今回これを使いたいと、いうことを記載、設置開設設定した分を設定したいと。そう思って悪いんだけど、
1:06:23	じゃあさ、これはPS検層でやった方がいいのか、この試験法でやったものをそのまま使えばいいのかっていう話で大きい小さいってということじゃなくて、
1:06:33	もしこれが、PS検層と一緒にじゃないんですよ。
1:06:38	設計的にどういう位置付けの、
1:06:41	ものがえられる試験法なんです。
1:06:44	かって聞いてんですよね。その観点から考えて、
1:06:49	特段こう試験法で、物性値を求めていいんです。
1:06:54	て言っているんでしょうと思うんだけどだから設置許可と大きい実際は関係なくて、それは後で品質確認試験も含めて総合的に判断すればいいだけの話で、まずは、
1:07:04	金の問題としては、設計するんですよね。設計計算をする上で、PS検層はどうしても必要なのか、それとも今のままで十分なのか。
1:07:14	そこをはっきりさせましょうということだけなんですけどその部分の結論が書いてないですよって言うてる。
1:07:21	はい。中国電力のヨシツグでございます。おっしゃられる通り 31 ページでは文献との関係だけがちょっと書いてあって、それをどう使いたいのかっていう我々の考えとかが少し、
1:07:32	ないというのだと、理解いたしました。で、
1:07:35	我々としてはこの配合試験の江藤室内は、S波速度そのもの、
1:07:41	もう
1:07:42	江藤試験規格ができてましてこれで、ある程度そこで出てくると思っております。それを設計時に使うときにですね、従来ならPS検層でやっているものところを、どういうふうにするかの低減、
1:07:56	超音波法で測ってるんですけどもそれと、その現地でのPSとの相関がどうなのかっていうところは、
1:08:04	これで示しております。ですんで、これを最低値の0点を取ったとしても、背あって設計をしてもですね、十分上回るんじゃないかという考えがちょっとここには記載が今ないのでそれを記載させていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:18	それが正しいかどうかというのは実際に施工した後のPS検層のところで、また相関をとってですね、ご説明をさせていただくということをちょっとここに記載をさせていただけたらと思います。
1:09:02	規制庁の江田ですからこの結論までちゃんと
1:09:06	を書いていたかということで、今回、回答となっておりますが、今これ、90、
1:09:13	2番でしたっけ。
1:09:17	ですのでこれは1、
1:09:19	91か91番か。
1:09:22	91番なんでこれは、またこれ新たにコメントっていうよりはもう少しですね、
1:09:28	ついていただくということで、一応継続としたいと思います。よろしいでしょうか。
1:09:35	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:09:39	その次の92番も関連しておりますので、これを合わせて、今後、またはご回答させてもらいたいと思います。
1:09:54	はい。
1:09:55	はい。わかりました。
1:10:00	わかりました91番。
1:10:02	のところでご回答の方、させていただきます。以上です。
1:10:12	規制庁の服部です。
1:10:14	ちょっと1点、もう1回事実確認を念のため確認させてください。
1:10:19	今のやりとりを見て聞いていて、私もちょっとこの室内、
1:10:26	配合試験の目的が一
1:10:29	ちょっとだんだんは読んでいくとわかんなくなっていくんですよ。
1:10:34	初めの方、説明だと、あくまでも今回の室内配合試験は、
1:10:41	設計値を決めるために、
1:10:43	やってるんだという目的でやってるにもかかわらず、
1:10:48	後ろの方に行くと、
1:10:50	結局設計時として使うのは、許可のときの設計なので、
1:10:55	いつの間にカー、これが許可のときの設計
1:10:58	にせん。許可の時に設計した今回設計値としても、
1:11:03	使うものの妥当性の評価みたいに何かすり変わっちゃってるように読めちゃうんですよ。
1:11:09	だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:11	これって設計値を求めるためにやった試験なのか、それとも本来設計値として用いようとしているものの妥当性の評価のためにやってるものなのかっていうのが、読んでいくとわからなくなっていくので、
1:11:23	そこら辺が少し読みにくいというのが少し印象として残りましたけれども、
1:11:29	すぐ、はい。
1:11:30	なので、
1:11:31	何かこう、目的がすりかわってるようにも見えるのでちょっと、
1:11:36	混乱するのかなという感じ、思うんですけども。
1:11:42	これって結局設計としてはあくまでも許可のときに使ったやつを使うんですという結論に持っていくんですよねどうぞ。
1:11:49	はい。中国電力のヨシツグでございます。今羽鳥さんがおっしゃられた通り、瀬、
1:11:55	設計時の時が、当初3軸の試験とかを使っておりませんでしたので、そのプロセスが一部、今回工認のところでちゃんと3軸試験をやって、
1:12:07	それらの結果を踏まえて今野氏、
1:12:10	既許可で使った物性値。
1:12:12	を設定するというプロセスで、試験の中身については、最終的には確認をしているという状況になっているというものでございます。以上です。
1:12:22	規制庁の八田ですはい事実としてわかりました。以上です。
1:12:28	そう。私としてはそれと納得いなくて、もともとこういう話ししてきているのは、新たに室内試験をして、それを使って設計するものというふうに我々解釈して、
1:12:38	言います。
1:12:39	それを変えるのであればまた、
1:12:41	会合かなって気がしますがねそって何かすり変わってるってということ自体が大きくなちょっと問題があって、例えば27ページの表の、
1:12:50	4-8で、これ市内試験で出てきた結果ですよ。
1:12:54	このVsを使って計算しますか、しませんか。
1:12:58	しない。
1:13:00	それはなぜですかって話で、自主的に行ったときに、
1:13:04	じゃあ、
1:13:05	下回ってるからいいということではなくてす。
1:13:10	ある意味これ、わかってますいわゆる、
1:13:13	それを全部変えるなんてパラメーター全部パラメータスタディやってもらう必要があります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:13:18	安定性の計算じゃないんで、
1:13:20	安定性の時には、それを強度が下回ってる、あればいいという話になっているんだけど、
1:13:26	詳細設計なんで実際に物を作るところも、その部材、部材の応力、またそれに関係する
1:13:33	支持してるものがあれば支持してるもの。
1:13:36	の数字ですよ。そこに与える影響も踏まえて安全性も踏まえて判断するわけで、そうすると、何か一つ代替させていただきますってなってますその、
1:13:47	物の感度を見ればいいけど、全体が変わるっていう話だったら事実であるんであれば、それはちゃんと計算してもらって、ある程度だ、すべての構造物を、
1:13:58	その他、関係するものに対して、
1:14:00	うん。
1:14:02	今の使っている、そちらが使おうとしているものが、明らかに安全であるという説明が要るようになるんじゃないですか。中でもいろいろやってますけど、いろいろ代替とかいろいろそ外挿する時には、
1:14:20	中国電力のクニシです。
1:14:22	今回の配合試験ですね、我々、
1:14:26	とにかくにも設置許可でお示したものを、少なくとも、強度についてはもちろんですが上回るということが一つやっぱり頭にありまして、
1:14:36	結果を見ていただいてわかるように、強度についてはほぼ上回る概ね上回るということで、安全だといえると思うんですが、おっしゃったように弾性速度はかなり大きめの値が出てきておりまして、
1:14:51	そこら辺で、
1:14:53	どちらを使うのか設置許可の値を使うのかそれとも今おっしゃったように、この試験で出た値を使うのかというところが、議論になるのかなということで我々は、基本を上回っておれば、安全側であろうという認識で、
1:15:07	政府のすいません。そういう考えだけであって、それを定量的に示すべきで生じないと工認としてはフェアじゃないんで、だから、
1:15:15	女川出てますよね。女川は例えば何かその分水っていうあれじゃ、埋め戻しだったのかな。だからそうずっと滑り安定性を滑り安定性、またそれに関係する。
1:15:29	ものとして施設、
1:15:31	の影響、
1:15:32	分も含めて、
1:15:33	検討されてると思うんですね、基本的に。
1:15:37	自分たちが採用したいという数字の方がより安全側の安全率になっていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:44	いうことを示した上でやってると思います。ただ、その中で
1:15:49	すべての施設をやるわけではなくて、基本的には、
1:15:55	後々、代表性の妥当性がちゃんと示せるものに対して、
1:15:59	ちゃんと代表性性を選定して、それをせせ、証明しているっていう。
1:16:05	検証しているといった位置付けになっているんですよね。
1:16:08	ナイトウ基本的に何が安全側かっていうのはあまり明確じゃないですよ。だから、そこはちゃんと明確にすべきじゃないですか。うん。
1:16:16	とかそういったことも踏まえて決定するのか、ただ元のままもう計算内訳で話すると、基本的に前からもうこの数字で計算していたから、そのままカワセっていうのは、話にしか聞こえなくなっちゃうから。
1:16:30	逆に言えば、
1:16:31	例えば、
1:16:33	この 1600、1400、
1:16:36	の数字であれば、傾きは全然違いますよね。
1:16:40	石渡梨花氏をすごく懸念している。500 分の 1 っていうと 1000 分の 1 っていう、多分このぐらいだともうかなり 1000 分の 1 ぐらいはちよつとなるんじゃないですか。
1:16:48	そういうこともありますけども、
1:16:51	基本的に言うと、なぜそう。
1:16:54	もう、
1:16:55	基本的に新たなものを使わないのか。
1:16:59	使っていこうとしていないのかそこをちよつと明確にする必要あるんじゃないですか。
1:17:05	中国電力清水です。
1:17:08	前回のヒアリングでもですね今日のコメントにもありましたように江崎さんの方からですねこの物性値を用いて今後やっていくんだよねみたいな。
1:17:18	Qがあったと思ってますんで、今回少しこの資料を作るにあたってですね我々もそこ日ちよつと悩んだところございましてですね、かといって設置許可での物性値を変えていったいいのかいいのかというのはちよつと非常に悩んだところございましてですね
1:17:33	業況の資料というのはですね先ほどクニシの方も申しましたように、こんな立て付けになってございます。ちよつと先ほどいただいたコメントをちよつと考えてみたいと思います。
1:17:43	規制庁としては、今まで設置許可、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:47	で求めていなかったですね設置許可っていうのは、あくまでもシブヤ委員広いんですよ敷地全体、敷地全体の施設すべてを網羅して評価しています。工認はそうではなくて、
1:18:00	例えばPS検ソウダの岩盤であって、
1:18:05	いろんなサイトでとあるけど大体が、
1:18:10	炉心した。
1:18:11	のボーリングで決まったPS検層で、地盤安定性で考えて出してるドイヤスは使っていないんで、
1:18:21	ただ公認ってそういうもんなんだ。
1:18:23	いわゆる、
1:18:24	いわゆる地盤ってものすごいばらつくわけで、広い範囲でいるものと、ある限定された範囲で、
1:18:32	見るもので限定されてるものに関しては、今、
1:18:36	そちらの方ではタイ、
1:18:38	タイ、大抵が実際に改良地盤の改良地盤、または
1:18:44	構造物は構造物。
1:18:46	どれを使うか。
1:18:47	にもよりますけどね。
1:18:52	使うという、言われてる範囲の中で代表性をもって、液状化強度試験とか、それを無茶苦茶保守的にしてるから代表性があるという話になってますけど、
1:19:01	我々は最初は、
1:19:03	それが代表性ありますかと、いわゆる、そもそも試験がやられた箇所として、だけど、そもそも指定されたのが、かなりN値からもっと、
1:19:12	求めて簡易的なものが、
1:19:14	東海大の強制的に液状化するような、取れさ。
1:19:19	とほぼ同等に近いような、強毒性を持つてるなんていうことで、かなり相当保守的に決めているっていうふうに判断してます。
1:19:27	そういうことから考えると、結局、結局はですねあれは許可でやってはいますけども、購入で、
1:19:33	確認してることたくさん今まで建設工認で携わったと思うんですよね、運用しよう材料とか、建設と詳細設計に入らないと。
1:19:41	決まっていないものを、設置許可の段階では決めきれてないものは、そういう物性値を後送りになっていますし、それに大体が、考え方としては、施設の設計になるんで、施設の周りの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:53	地盤特性で、割と集約して、ばらつき程度、ある程度正確に把握するとかいった行為もずっとしてきてるのでそこを変えちゃいけないという理由は全然ないんだと思います。
1:20:08	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご主事、よくよく理解できました。
1:20:14	今回の場合はですね改良地盤 1 から 3 という限定的な場所で今、今回考えているところでございますので、それについて新たにデータを取得したというところが、今回の強みだと思っております。これをどうやって使っていくのかというのをもう一度、社内で整理をして、
1:20:29	またご説明させていただきたいと思えます。以上です。
1:20:32	はいわかりましたそれをもう少し整理していただいて、この例えばBSO。
1:20:37	表の 8-1600、
1:20:40	77 というのが、
1:20:42	設計として使うにはまだ十分性がないという、
1:20:45	判断であればそれはまた別の話だと思えますけど、実際に、
1:20:50	全体読みにくいのは、どういう観点で、何をしようとしているのかがハッキリようにわかりにくいんで、ある程度少し不考え方をフロー化できないですかね。
1:21:03	だから最初は取れるように、全体の教育と全部これ新たに試験して、後に設計してくれるんだよねっていう、読めるんですよ。最後に行くとか何か、
1:21:14	わかんなくなってきたんで、さっき言ったように話がすり合わないんですよ。
1:21:20	なので、もう一度考えてみて、
1:21:24	中国電力として最後どうしたらいいのか、そう。そうしたいと。そうするためには、その設計図書の安全性っていうかその安全性の観点で打つ安全性の観点で、
1:21:35	どのような説明を、その妥当性としてですね、しなきゃいけないかも踏まえて、
1:21:41	ちょっともう一度持ち帰ってですね、そこを整理していただけますか。
1:21:46	はい。中国電力のヨシツグでございます。解析用物性値の設定というところのですね、今結果まではある程度そろったので、それをどういうふう設定していくのかっていう我々のロジックを含めてですね、
1:21:57	記載してもう一度ご説明させていただきます。以上です。
1:22:07	規制庁のハットリでは次お願いしますどうぞ。
1:22:19	はい。中国電力の伊佐です。No.93 になります。
1:22:25	取水槽の可溶地盤について変形抑制が役割を追記し説明すること、それぞれまとめ資料
1:22:32	1038 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:43	はい。
1:22:44	38 ページの中ほどになります、取水槽に関するところの第 2 パラグラフの 1 行目の後半からになります。
1:22:52	取水槽の解除は 7 に期待する役割としましては、構造物の変形抑制があること。
1:23:00	それに伴いまして修正前に設置される機器配管系の床応答の影響があるというところを書く記載をいたしました。
1:23:07	そして役割といたしまして衛藤まとめ資料 12 ページをお願いいたします。
1:23:24	ええ。
1:23:25	12 ページ取水槽、会場⑦ところですね。
1:23:28	役割の構造物変形の抑制とその下に機器配管系の影響というところも記載をさせていただきました。以上です。
1:23:39	規制庁の土岐です。基本的に回答としてはこれ結構なんですけど、
1:23:43	以後を審査していく上で、
1:23:46	たとえバー。
1:23:48	先行サイトの中では、やはり取水槽、
1:23:52	のところでやはりある程度曲げひび割れとか、せん断ひび割れ、せん断UR行ったらいけないんだけど曲げひび割れぐらいいかなといったときに新京成の程度から考えて、
1:24:02	止水性、通水機能とかどうしても、
1:24:06	貯留機能とか考えたときに、じゃあどこまで、
1:24:10	共通受かったら、
1:24:12	概ね弾性範囲にせざるをえないんだけど、そこでは止められないので、
1:24:18	実際には、
1:24:20	止水性っていうと大体底盤近いところになっちゃうと思うんですけどね。その部分の取水性が、止水性が担保できないような状態。
1:24:29	であったときには、その裏にある。
1:24:32	何だっけ、地盤改良。
1:24:35	もうその透水機能不透水機能というか、
1:24:39	を期待してっていう場合も出てきます。今回まだ設計に入っていないのでそこには踏み込む私たちの指摘としては踏み込みませんけども、
1:24:50	もしそういう場合があるんであればまたここはまた振り返り、
1:24:54	また指摘することになると思いますが、
1:24:57	ということで、
1:25:01	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:05	改良地盤のですね、要求機能が別のものが出てくるかもしれないというのを、理解いたしました。
1:25:11	以上でございます。
1:25:13	あ、すいませんあとですね、さっき言ったのは、92 番って、
1:25:18	ちょっと聞き逃しちゃったんだけどこれってどこに書いたんですたっけ。
1:25:23	いわゆるあれですよ
1:25:26	申し送り事項。
1:25:32	に対して室内試験結果をついた物性値用いると説明することってという話で、
1:25:40	確か何か、
1:25:42	冒頭に何か言ってましたよね。
1:25:44	1 ページあたり。
1:25:50	はい。中国電力の伊佐です。はい。1、
1:25:54	すいませんちょっとこちらページ数、まとめ資料 1 ページ、お願いいたします。
1:26:04	の中ほどのところでございます。
1:26:07	にまた、実施工において 3 時間収縮試験及びPS検層、こちらですねPS検査によって、
1:26:15	設置許可段階で設定した技術検査等に基づく改良地盤の物性値が確保されていることをせ
1:26:23	イソコン審査において説明する、こういった記載をさせていただいております。
1:26:28	規制庁の江崎です。で、そう書いている、いるんだけど、
1:26:33	今回、そうしますと、
1:26:35	出る。
1:26:36	話なんでちょっとまず、この前申し上げたときには、
1:26:43	設置許可の、
1:26:45	令和 3 年 4 月 30 日に出してる資料 6-1 の、
1:26:50	216 ページ。
1:26:52	書いてある箱書きの中の、
1:26:54	丸ですね、設置許可のときの介護資料ね。
1:26:58	そうそうないんでしょうけど、それをそのまま書いた上で、それで今回どうするかっていうふうにして欲しかったんですよまずは書いて欲しかったのは
1:27:10	設置許可時の時に何を言っていて、
1:27:13	だから今回どうするっていう形でまず、設置許可、
1:27:16	のやつはどう何を変え、どう書いていたかっていうのをちゃんとね、明確にしてくださいっていうのが、もともとの趣旨なので、
1:27:23	それはその直接そのまま書いていただいて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:27	それで今回どうするかっていう話ですね、こう書いてるので、さっきの説明とは大きく話が変わってきちゃいますよね。
1:27:39	しない、配合試験により、
1:27:41	物性値を設定するってなっちゃってるから、
1:27:46	これから夢が設定するってなるから、根拠設計、設計上設定してんだらうなというふうに思いますしね。
1:27:54	それはどう考えるかっていうことも踏まえてですね、もう一度整理していただいた方がいいのかなと思います。
1:28:00	さっきのこういうもう、もう話をしましたんで、
1:28:06	はい。中国電力のヨシツグです。先ほどの91番と合わせてですね、こちらについても、
1:28:12	まず、設置許可どう書いていたのかっていうところを明確にした上で、そのあとの文章のところは考えたいと思います。以上です。
1:28:23	規制庁の服部ですよろしくお願ひしますちょっと1点、ちょっと確認なんですけど。
1:28:28	さっきの説明の中で、
1:28:30	1ページって言ってたんですけど、
1:28:33	てことはこの資料への反映箇所のページ数って、
1:28:36	間違ってるってことでいいんですかね。どうぞ。
1:28:41	長犬飼さんですはいすいませんちょっとこちらですね申し送り事項に関する記載箇所というところが、回答整理本方にもですねちょっと回答書けてないというところもあったり、
1:28:53	しますのでちょっと先ほどの話も踏まえまして、
1:28:56	ちょっとこちら修正させていただけたらと思います。以上です。
1:29:01	規制庁のハツリですはいちょっと細かいことなんですけどちょっと確認だけしました。
1:29:07	では次お願ひしますどうぞ。
1:29:10	はい。
1:29:12	ええ。
1:29:13	中部電力磯です。次、9、No.94になります。改良工法の特徴選定理由を補足説明書で説明すること。
1:29:21	といたしましてまとめ資料、2ページお願ひいたします。
1:29:28	こちらでですね地盤改良工法につきまして
1:29:33	その概要であつたり、ちょっとところをまとめさせていただいてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:38	豊島現職発電所におきましては 2 ページ目になりますのは、表の 2-1 に記載しております。
1:29:44	うち、黄色で着色しております、置換工法、
1:29:49	沖。
1:29:52	固結工法、こちらを、
1:29:53	ベースの改良地盤を設定しております。
1:29:57	そして
1:29:59	4 ページ目になりますが、こちら下は採用してる工法の概要であったり、採用している。
1:30:07	またその理由。
1:30:09	目的そういったところを記載をさせていただいております。こちら 4 ページ目と 5 ページになります。
1:30:15	以上です。
1:30:16	規制庁の宮です。これで結構ですどうもありがとうございました。ちょっと先ほどのちょっとエザキとの議論を聞いていて、思ったんですけど。
1:30:26	今日動特性に関しては、もちろん試験結果とアンダーで取ってれば安全がですけど、VSセンターハーに関しては、応答を見たときに、必ずしもせん断速度が小さいときが、
1:30:38	応答が大きくなるってことはないので、
1:30:41	そこはちょっとそれも含めてですね。
1:30:43	地震をとってという目から見たときの、
1:30:46	どちらが保守側なのかっていうことも併せて検討していただけるんじゃないか、いいと思います。
1:30:54	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:30:59	植野構造物のこういう式とかそのあたりも含めてですね、関係してくると思いましたが、併せて確認させて、
1:31:09	はい。おっしゃる趣旨、理解いたしましたので、はい。
1:31:13	まだちょっと確認をさせていただきます。以上です。
1:31:19	規制庁のハツリです。では次お願いしますどうぞ。
1:31:23	はい。中国電力伊佐です。続きまして
1:31:30	96 ページ、No.96 お願いします。防波壁逆T擁壁の下の地盤、可溶地盤が 3 歳な図れているよう説明すること。
1:31:40	失礼いたしましてまとめ資料 41 ページをお願いいたします。
1:31:53	こちら参考 1 ということでちょっとこちら少し資料の構成を変えまして、設置許可段階における売却利益或いはということで少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:02	タイトルの方も少し直させていただきました。1ポツというところでその変形特性、
1:32:09	登録しておりますが、こちら設置許可段階において、
1:32:13	逆T擁壁の改良地盤のPS検層の結果から、3層に区分をしておりますが少し見にくいですが、この図1の
1:32:23	右や左上のようにPS検査の結果が、
1:32:28	法に基づきまして右下の、
1:32:31	改良地盤、
1:32:32	3層に区分をして設定しております。
1:32:35	以上でございます。
1:32:37	規制庁の大橋です。事実確認なんですけれども、
1:32:41	ジツウ地盤でPS検層やったら、
1:32:44	三つに区分できたということなんですけれども、
1:32:48	設置許可で設計したときに、
1:32:51	③に当たるような一番深いところが、
1:32:55	VS大きいすなわち強度が大きいような、
1:32:59	地盤改良をしなければいけないというそういう理由ではなくて、言ってみれば、たまたま、
1:33:06	改良してみたら、このような、
1:33:09	123の2区分できたということでもよろしいですか。
1:33:13	はい。中国の葛西です。はい。その認識で結構でございます。
1:33:17	もう1個確認なんですけれども、
1:33:20	この一井さんについて先ほど室内試験でキョウシタイ。
1:33:25	1イトウ2つっていうのをやっていますけれども、これはその010203は、
1:33:32	同じ配合でやるということですから、やっぱり深さによって分けるんでしょうか。お願いします。
1:33:39	はい。中部電力の江沢です。今回の室内配合試験の結果でいきますと、
1:33:46	多少その層区分によって配合を一部変えていくことがあるかなと思っておりません。以上です。
1:33:53	規制庁大橋です。
1:33:55	室内配合の7件の2だと、ちょっと今日、強度的っていう火事場G0もかなり設置許可より経ってますし、そこは、
1:34:06	妥当性について配慮して、
1:34:09	配を決めていただければいいかなと思います。あと、ちなみにですね、薬液注入工法ということなんです、薬液の種類として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:20	水ガラス系とセメント系っていう大きく分かれるんですけども、これはセメント系という理解でよろしいでしょうか。
1:34:27	はい。中国の久米田です。はい。現在、こちらセメント系で、
1:34:31	の薬液注入を考えております。以上です。
1:34:34	規制庁、大橋です。
1:34:36	今回のコメントについて、了解しました。
1:34:46	規制庁の梅田ですけど今のちょうど参考資料のところの話があったので、
1:34:51	資料上の話だけです 42 ページの一番最後、
1:34:57	これ
1:34:58	安定性評価結果として下に下を見ると、最大主応力がこれでコレコレであることが確認されたってことになってるんですが、
1:35:07	これ、結論がないですね何を言いたいのかよくわからなくて、
1:35:12	最大収容力がこうであって、それが改良地盤 1 から 3 の強度特性の、
1:35:20	中に入っている。
1:35:22	ことが確認されたとかっていうことが必要なんじゃないですか。いかがですか。
1:35:28	はい。中部電力、伊佐です。はい。ご指摘の通りかと思えます。ちょっとこちらの資料の立て付けといたしまして、
1:35:34	その旨を私らの問題は、本体といいますか、
1:35:43	藤さん 10 ページ。
1:35:46	になります。こちらの方に参考 1 で確認したこの応力レベルの範囲で、
1:35:52	確認者とそういったことのためにちょっとこういった記載をさせていただいております。おっしゃる通りですねちょっとそこの参考 1 だけ見ると、
1:36:00	ただ結果だけ書いているという状況でございますがちょっとそういった、まとめ資料との関連性を含めてですね、資料の方、少し適正化させていただきたいと思えます。以上です。はい。すいませんお願いします。
1:36:23	規制庁のハツリです。今の話が出たので、関連して私も 2 点ほど確認しますというか、記載の適正化だけなんですけれども、
1:36:32	まず 42 ページの一番上、
1:36:34	また改良地盤市さんの強度特性は、改良 1 から 3 は、
1:36:41	云々かんぬんことから云々かんぬんでまた改良地盤 1 から 3 の粘着力云々かんぬんって言って、なんかはっていう主語がたくさん出てくるんですけども、
1:36:51	これ少し読みにくいので、これコメントしませんけど、
1:36:55	多分この黄色のところをつけた、付けなければこれで読めるんでしょうけど、つけたらやっぱ後ろの方もちょっと見直してもらわないと、ちょっと読みにくいので、少し検討いただけますかどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:07	中国電力ですすみません、申し訳ありません大変失礼いたしました。ちょっとこちら文章を修正させていただきます。
1:37:15	規制庁のハットリつ後もう1点先ほど三浦の方がですね使用力の話をしたんですけれども、
1:37:21	これ、
1:37:22	あくまでも、
1:37:23	許可ではこうでしたんのを示しているっていう。
1:37:28	資料だと思っていて、
1:37:31	基礎地盤の安定性評価結果って書いてる限りにおいては、
1:37:36	滑り安定性の評価結果を図に示すって言って放り投げるのではなくて、その結果、滑り安全率が1を下回ってるので滑り
1:37:48	地盤の安定が確保されてるとか何かそこら辺の結論まで書いてもらえば、これ別に今回の資料と、地盤改良施設の設定には直接関係ないんですけど、
1:38:00	一応資料の体裁というかですね、として
1:38:05	そういうふうにしてもらった方がいいかなあというふうに今、思いますので、先ほど
1:38:11	ミウラの方が応力がこうでしたってことで結論を書いてないっていうとの話がありましたので、合わせてちょっと、
1:38:20	そこら辺の結論めいたところを記載していただければ、資料として体裁が整うのかなと思いますので、いかがでしょうかどうぞ。はい。中部電力の佐田です。はい。大変失礼いたしました。ちょっと。
1:38:33	言いたいことだけを書いてしまったような文章になっております。ちょっとこれ全体がですね読んで違和感がないように、
1:38:42	データがわかるような、ちょっと記載に直したいと思います。ありがとうございます。
1:38:46	規制庁の服部です。では次お願いしますどうぞ。
1:38:53	続きまして、
1:38:56	最後になります。98番。
1:38:59	一切配合試験における協力除いた資料の紙。
1:39:02	試験結果品質について説明をすること。
1:39:05	まとめ資料20ページをお願いいたします。
1:39:15	こちら
1:39:16	20ページになりますが、黄色で文書が出てるところでございます。
1:39:21	と改良地盤の施工に当たりましてはデッキを含めて、改良地盤を全体で掲載するということですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:28	今回この距離列記を抜いたというところ。
1:39:31	つきましては浸透固化処理工法技術マニュアル、こちらでそういった、
1:39:37	試験に影響のないようにそういったデッキを取り除くという記載がございましてそれに準拠いたしまして今回試験を実施しているというところを記載しております。以上です。
1:39:47	規制庁の大橋です。
1:39:49	マニュアルにそう書いてるっていうのは理解したんですけども、
1:39:53	もう少し記載を充実、充実して欲しいんですが、今のちょっとご説明ですと、
1:39:59	何かできないから、
1:40:01	いいやみたいにもちょっと取れたんで、技術的に、利益を無視しちゃってもいいんだっていうような、そういう説明を書いていたきたいと思うんですけどもどうでしょう。
1:40:14	はい。中部電力の江沢です。はい。
1:40:17	こちらですね
1:40:21	はい。
1:40:23	承知いたしました。
1:40:24	あ、わかりました。
1:40:26	中国電力のヨシツグです。合わせまして、今回の現地でウエキが入っているものも採集して30個やろうと思っておりますので、そういったところの比較をして、今の配合試験が妥当だということもあわせてご説明したいと思います。以上です。
1:40:40	規制庁大橋です。それで、よろしくお願いします。
1:40:52	規制庁の服部です。
1:40:54	今年、
1:40:57	前回のヒアリングに対するコメント回答については、以上ということでよろしいでしょうかどうぞ。
1:41:05	はい。中央会監査です。はい。こちらで以上となります。
1:41:09	規制庁の服部です。
1:41:12	それでは許可からの申し送り事項についても、
1:41:17	今回回答というのがありますけれども、これについても説明されますからどうぞ。
1:41:32	はい。はい。中央契約の伊佐です。はい。今回ですね
1:41:38	いただいた室内ご試験の結果をどう使っていくかというところが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:43	許可からの主軸の答えになると思っております。少し今回いただいたコメントを踏まえましてちょっとこちらでも少し修正をしてまた改めてご説明させていただきたいと思っております。以上です。
1:41:55	規制庁のハツリですはいわかりました許可からの申し送り事項は今回のこの内容のことをそのものを言っていて、ここで、
1:42:05	その小令和ですね分類Bなので、
1:42:10	結果的には介護の方で説明していただくことになると思いますので、今日のいろんな事実確認を踏まえてですね適正化するのは、していただいて、
1:42:20	県として一応、
1:42:25	今回どのような申し送り事項に対して、どこら辺を説明しようとしてるかっていうのがここでわかりましたので、これはこのままにしておきたいと思えます。で、まああの会合で刈り取ったらグレーにさせていただくということでもよろしくお願ひしますよろしいでしょうかどうぞ。
1:42:41	はい。中国電力のヨシツグでございます。了解いたしました。
1:42:46	規制庁の服部です。それではコメント回答と申し送り事項に関する説明は以上でよろしいでしょうかどうぞ。
1:42:55	はい。中国電力吉住でございます以上でございます。
1:42:58	規制庁の服部です。それでは先ほど話がありましたように、今回新たに説明するところがあるということなので、その点について説明をいただいて、そのあと資料全体を通してですね、
1:43:10	また確認する点がある方は、確認をお願いしたいと思いますので、追加して説明するところの説明をお願いしますどうぞ。
1:43:20	はい。ちゅう局の江沢です。それではご説明させていただきますちょっとまず
1:43:26	今回記載の適正化箇所について少しご説明させていただきます。回答整理表、11 ページ、お願いいたします。
1:43:39	はい。11 ページの 30、
1:43:42	ナンバー35 からH今回の基礎資料の適正化箇所となります。
1:43:48	まず 35 といたしましてまず冒頭申し上げました、
1:43:52	今回資料の位置付け、こちらについて
1:43:55	明確にするために記載を適正化いたしております。はい。これが 1 まとめ中 1 ページにあります。
1:44:01	続きまして 12 ページ。
1:44:04	私は 7、
1:44:06	7 ページの図 3-2 こちら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:10	改良地盤の配置図になりますが、ちょっと一部、ちょっと細かいところがございますが単位メートルというのは、少し抜けてる図が一つありましたので、こちらをし、追記させていただいております。
1:44:25	で、37 から
1:44:29	以降につきましては、ちょっと試験規格の記載が少し
1:44:34	んつきましてちょっと適正化をさせていただきました。
1:44:38	特にちょっとナンバー40、ナンバー48につきましては少し基準のほうの動きがございましたので修正いたしております。大変失礼いたしました。
1:44:49	ないですか。はい、わかりません。はい。あと
1:44:53	はい。ごめんなさい。
1:44:54	では
1:44:56	まとめ資料の方をご説明させていただきます。
1:44:59	20 ページ、お願いいたします。
1:45:07	はい。
1:45:09	今回秋谷久慈駅の改良地盤、こちら室な配合試験の結果が、整理できましたので、そちらの方のご説明させていただきます。先ほどちょっと、
1:45:18	いろいろとすでにコメントいただいた箇所もございますが、ちょっとまず今回、この資料でこういった説明をしたかったというところで、衛藤。
1:45:26	ご説明させていただけたらと思います。
1:45:29	まず、500 地域のした配合試験に当たりまして、図の 4-4、
1:45:34	の赤間で示す位置で埋め戻しをサイショいたしました。
1:45:39	23 ページお願いいたします。
1:45:44	で、今回採取した埋戻動の家、
1:45:48	流動分布になりますが、重要なに示す通り、
1:45:51	既往のボーリング資料、黒瀬になりますがそれと同等の粒度分布、
1:45:55	赤線。
1:45:56	を確認できたことから今回採集した埋戻しというのは、代表性があると判断いたしました。
1:46:02	なお今回採集したメモとしては、室内配合試験に使わない、粒径 53 以上のものをちょっと取り除いた現地取り除いた結果となっております。
1:46:11	24 ページお願いいたします。
1:46:16	はい。今回、
1:46:17	新設の可溶地盤の試験項目として、密度間隙率をこちら確認するために、岩石の位置と水試験という方法に少し今回採用いたしましたので、そちらを追記しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:29	26 ページお願いいたします。
1:46:36	こちら
1:46:38	降灰逆T擁壁の強度特性につきまして、こちら申し送り事項の記載を踏まえまして記載を少し修正させていただいております。
1:46:46	27 ページお願いいたします。
1:46:50	こちらから室内方式の試験結果となります。
1:46:53	取水槽の結果につきましてまた後日ということで今回は逆T擁壁のみの結果となっております。
1:47:01	今回売却利益の改良地盤 1 から 3 は
1:47:05	評価段階においても区分して物性値を設定しているところから、室内配合試験におきましても、その区分に、における物性時を確保するという目的で配合を変えたキョウシタイ値、
1:47:18	供試体人を用いて三次下式の試験検討。
1:47:22	し、いたしました。
1:47:23	その結果が表 4-7 表 4-8 となっております。
1:47:30	28 ページお願いいたします。
1:47:34	こちら、繰り返し 3 軸試験の結果、
1:47:37	29 ページお願いいたします。
1:47:40	こちらが 3 軸圧縮試験の結果となります。
1:47:45	30 ページをお願いいたします。
1:47:48	まず、こちらですね主な配合試験の結果から、1 個、設置許可段階における管理目標値、これに対する確認を実施いたしました。
1:47:58	防波壁逆T擁壁の改良地盤、1 から 3 における強度特性というのは $c\phi$ 、こちらから
1:48:06	を考慮することから、その両方が考慮できる $\tau$ 。
1:48:10	式 3 と書いてありますがしたうこうしたつ $\Sigma$ 単純な $\phi$ 、こちらの関係を用いて、そのせん断強度を指標といたしまして、
1:48:19	室内配合試験におけるせん断強度が、設置許可申請書に記載された物性値から算定されるせん断強度を上回ることを確認いたしました。
1:48:28	その結果は図の 4-11 となりまして、黒の破線が設置変更許可申請書に記載された物性値が算定されるせん断強度、
1:48:38	管理目標値となります。
1:48:40	そして赤線、赤の実線が今回、室内を試験結果から獲られた。
1:48:44	結果となります。
1:48:48	供試体 1 では小さいともに改良地盤 03、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:53	一番影響度があるところですけども、こちらを上回ってることから、
1:48:57	Σに限らず、
1:49:00	せん断強度を上回るということを確認いたしました。
1:49:03	供試体につきましては
1:49:06	Cは、獲られたんですけどちょっとφが一部少し低いというところで、少し先ほど見ていただきましたが
1:49:14	42 ページ、
1:49:15	お願いいたします。
1:49:22	先ほど
1:49:24	いただきました。
1:49:25	設置許可段階における
1:49:30	基礎地盤の安定性評価における
1:49:33	改良地盤の応力レベルを確認するということで、43 ページの図の 3 となっております。
1:49:41	で、
1:49:43	図 2 では
1:49:46	資金度合いをすいません記載させていただきますが、
1:49:49	こういった滑り評価をやっていただいてやっておりまして、
1:49:52	中で改良地盤を通過するケース 3、こちらに着目をいたしましてその応力レベルを確認しております。
1:49:59	その結果、またすみません、戻りまして、
1:50:04	35 ページになり、
1:50:09	能力レベル範囲が大体 80 から 150kNといったところにありますのでその区間におきましては、この供試体 2 というのは、改良地盤 01。
1:50:19	②のせん断強度を十分上回るということを確認できました。
1:50:23	以上より、島根現職発電所のお戻しを対象とした、薬液注入工法による改良地盤、
1:50:30	こちらにつきましては設置変更許可申請書に記載されたPS検層等に基づく、改良地盤 1 から 3 の物性値、
1:50:37	管理目標値を
1:50:40	である強毒性、こちら確保できるということを確認いたしました。
1:50:44	31 ページをお願いいたします。
1:50:50	これらの結果を踏まえまして
1:50:53	解析用物性値を設定していきたいと。
1:50:56	いうところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:58	(エ)密度、
1:50:59	間げき率となります。
1:51:01	室内配合試験の密度というのは3、
1:51:05	先ほど少し標準を載せさせていただきましたが、
1:51:08	改良前のメモの指導、2.11 グラムパー立法センチメートル、これよりも小さい、 約
1:51:14	2.00 グラムパー。
1:51:16	立方センチメートルとなっております。
1:51:19	これは基準に従いまして教歴、
1:51:22	デッキを取り除いたことに平均して密度が減少したと判断いたしまして、水につきましては、現地盤の埋め戻しと、
1:51:29	の密度を採用したいと考えております。
1:51:33	また、管理率につきましても室内5試験、0.
1:51:38	343 から0.366、こういった値よりも保守的な、ミヨシの管理技術0.45という値を採用したいと考えております。
1:51:47	そして括弧増せん断弾性係数につきましては、
1:51:52	このどうせこの算出に用いるS波速度というところで、支配越しに確認したS波速度1480から1680。
1:52:01	そういった値に対して、設置変更許可申請書を示した速度、
1:52:06	400から610というところを、十分上回ることが確認できたことから、
1:52:13	設置変更許可申請書に示した速度を用いることとしたいと考えております。
1:52:19	32ページをお願いいたします。
1:52:24	動的変形特性といたしまして
1:52:28	この図4-13-14に示す、
1:52:32	ような、実売0岩盤市場の関係を使いたいと考えております。
1:52:37	また(リ)影響属性紙ファイルにつきましては先ほどご説明した通りで、質な配合試験で確認された強度特性というところが、設置変更許可申請書に記載された値を確保できると。
1:52:50	いうところで、解析を没水としては設置変更許可申請書に記載された物性値を設定したいと。
1:52:58	そしてこれらを踏まえまして33ページ。
1:53:02	のなりますが、表4-9、
1:53:06	また操作、
1:53:07	物性値として表の4-9、その設定根拠として表の4-10の通り整理、
1:53:12	いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:15	はい。
1:53:16	そうだよ。
1:53:17	はい。ご説明したい。内容は以上となります。
1:53:24	規制庁のハツリです。はい。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:53:35	江寄ですけども、先ほども触れた話。
1:53:40	今の説明があつたが変わるものではないとっていて、
1:53:45	基本的に言うとな、
1:53:47	as-isを使うのが、
1:53:48	数字ですから、
1:53:50	それに対してどう考えんだって話があつて、
1:53:55	可能性も安全側といえるか言えないか、ばらつきを含めていったときに、
1:54:00	基本的に、
1:54:01	かなり厳しい状態。
1:54:03	見しているのか。
1:54:05	その時はばらつきはどう考えるのか不確かさをどう考えるのかっていうことも、設計だから、基本的にはそ、
1:54:12	それをどのようにね、説明するのかっていうのが必要。それと、
1:54:17	一番石渡委員が気にしてるのは、経営者ですから、
1:54:20	最後にこの話も家の傾斜を振り出しに戻して、
1:54:24	尾家委員にまた、
1:54:26	後藤町願うことも考えなくもないので、そのとき、
1:54:31	考えた時今 500 分の 1 の
1:54:34	あれだよね傾斜なんで、多分彼はそれに対して納得しないんでねいまだにね。
1:54:39	うん。
1:54:40	それご存知だと思いますけど、それは多分アンカーで頑張りますっていう話を、
1:54:46	をしてるんですね。それはいわゆる、
1:54:50	その当時、さっき書いてくださいねって言った、
1:54:54	石渡委員の方の会合で、そちらが宣言しているのは、
1:54:59	調査設計段階においてPS検層云々、その管理基準値が確保されていることを 3 軸試験とか云々で確認するとともに、判断かによる変形形。
1:55:10	変形抑制効果を踏まえた設計、設計をやるってんだよね。だから、本当は、
1:55:17	読み方によっては、新たな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:21	物性値、今は、
1:55:23	こういう設置許可の段階では、
1:55:26	試験もしてないので、
1:55:28	かなりやら金に、
1:55:30	問題になってるのが、傾斜なので、
1:55:34	傾斜が出やすいようにしてますとしかもアンカーはある程度見込んではいるけど完全設計変形抑制まで、
1:55:42	効果を見込めるような、
1:55:46	解析モデルっていうか解析手法じゃないですよねフラッシュってだから、それから考えると、もうかなり全部全体的に保守的になっているので、500分の1と、ただ、
1:55:57	そのものを膨張てそのものに関しての健全性っていうかその影響としては、特段今、
1:56:03	見通しと見通しとして影響はないと、いうことはつけているところまでしかしてないんですよだから、
1:56:11	今後我々として確認していかないといけない。当然、有効解析とかその辺に話入ってきてないですけど、
1:56:17	そういう詳細な計算した上で、実際に傾きがどうだったかということも結論を確認していかなくちゃいけないと思っていて場合によっては、
1:56:26	委員が、
1:56:27	に説明をするのか、委員も含めて、また会合を一時考えるのかっていうのはまたちょっとこっちの事務方として整理していかなくちゃいけないんですが、
1:56:38	それも踏まえてですねどうあるべきか。
1:56:40	よく考えていただいた方がいいかなと思います。私はこれコメントではなくて、多分今後のこのままで終わらなくて、
1:56:48	基本的には設計結果で出た段階で、やはり、
1:56:52	安定性に関しての傾斜っていう部分だけはちょっとまだ残ってるんだと思うんですよ。
1:56:57	設置局からもしこれある程度申し送りされているところ物性値としての、
1:57:02	関係性で、結論を使ったもので結果としてどうだったかという話。
1:57:09	それはちょっとگران単価のお話も出てくるので抑制の中で、
1:57:12	だから、この地盤支持層税としてはしませんけども、実際それを考えたときにどう考えるのか。
1:57:20	設計としてどう構築していくのか。
1:57:22	ていうのをよく考えていただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:25	いかがですか。
1:57:30	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:57:33	先ほどまでのコメントも踏まえまして、解析用物性値として、どういったものを、
1:57:39	考えるのかと。その時には、申し送り事項の社員でできたのがおっしゃられる 通り経営者のところに出てきておりますので、そういったところの考え方を、
1:57:49	我々としてどうするかというのを、改めて整理してまたご説明させていただきます。 以上です。
1:59:33	規制庁の服部ですはい。すいませんヒアリングは少し長くなってますけれども 子供は続けたいと思います。それで
1:59:41	もしトイレに行かれる方は遠慮なく言ってください。もし行かれてる方が回答者 になるときはまた待ってますので、遠慮なく行かれて、
1:59:50	いただいて結構です。
1:59:52	それでは引き続き、今のこの資料に対して確認する点がある方お願いします どうぞ。
2:00:04	はい、規制庁の谷口です。
2:00:07	ちょっと確認をさせてください。
2:00:11	25 ページ目のところ、
2:00:15	解析用の物性値の設定方針これは先ほどもお話が出ましたけれども、
2:00:21	ここ書くべきことがどれなのか。
2:00:26	例えばどうせちっとせん断弾性係数のところを、ちょっとこのまま見ますと、
2:00:32	二つ目のところに、
2:00:35	改良地盤 0103 の設計、S波速度VsDについて小 4-5 の通り、
2:00:42	設置許可段階で示したS波速度を設定する。
2:00:47	この文章の意味がよくわからないですね。
2:00:51	言ってるのはきっとこのVsの数字で、
2:00:55	下の式で計算するってことを言おうとしてるのかなと思いましたけど、
2:01:00	内容がちょっとわからないですんで、その上で、
2:01:05	SDについては質問は大地健之介結果を踏まえて改定する設定すると書いて あって、
2:01:13	それと別に、
2:01:15	31 ページ目のところ、
2:01:18	これは試験の結果を踏まえて、
2:01:22	無成長、こうこう考えますって書いてあって、そののところに、
2:01:27	設置許可段階で示した速度を、
2:01:34	必要がない試験で確認されて、それは速度は上回ることが確認したから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:40	物性値わあととしては、
2:01:42	設置許可なんかで、
2:01:44	VSDのS波速度とすると書いてあって、
2:01:48	もう方針のところに書いてあることと、結果で書いてあることが、同じことが書いてあって、
2:01:54	結局何を言わんとしてるのかわからない。要は、
2:01:58	法人のところではこういう流れで、
2:02:01	やります。
2:02:02	やった結果こうでした。
2:02:04	ていう表現なのかと思うんですけど、その辺がやっぱり、ここで何をしようとしてるのか、きっちり説明されてないので、
2:02:13	よくわからない結果になってしまってるので、先ほども話が出ましたけど、
2:02:20	要は方針のところではこういう方針で検討するっていうところから始まって、結果こうでしたっていう流れだと思います。
2:02:29	まだ途中経過だったのかもしれませんが、この辺はきっちり、何をしようとしてるかを書いた上で実施していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
2:02:42	はい、中央電力の伊佐です。
2:02:44	ありがとうございます。皆様から今回ご指摘いただきました通りでちょっと位置付けとか、いうところはですね、
2:02:50	少し見にくいところや、
2:02:53	遅れているところもございますので、ちょっと、
2:02:56	はい。今回いただいたコメントをいろいろ含めましてですねこら辺の記載を、
2:03:01	としてまたご説明させていただけたらと思っております。ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。それで、特に、一つは、設置許可段階で示したS波速度っていうのは、突然現れてきてるんですけど、
2:03:15	この辺は、ある意味で、どっかの店舗資料に書かれてるものかわかりませんが、
2:03:22	大元をきっちり変えた上で、全体の流れを
2:03:27	崩さないようにして、わかるようにしていただければと思います。よろしくお願いいたします。
2:03:34	はい。中部電力の伊佐です。はい、ありがとうございます。こちらは、
2:03:38	先ほどの41ページ以降のですね、設置許可に関するところから、引用した方が確かにおっしゃる通り、わかりやすい資料にあるかと思いましたので、そういったところも含めてはい。
2:03:49	修正をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:53	よろしくお願いします。
2:03:57	それからもう一つ、
2:04:02	27 ページ目のところに、
2:04:06	等ある供試体の
2:04:09	Gガンマ曲線のケース、検討するにあたっての部分ですが、
2:04:15	この試験は、基本的に、各、
2:04:20	改良地盤に対して 1ヶ所、知ろう層は 1ヶ所っていうのが、
2:04:25	今書いてありますけどそういう趣旨でしょうか。
2:04:34	はい。
2:04:35	表 4-7 のところにつきましてははい。
2:04:38	繰り返し 3 軸試験時バルジ 0 アマヤ 1γ のところにつきましては、キョウシタイ
	1、
2:04:43	そして 1 供試体 2 で教育をしたいというところでございます。
2:04:48	これは単独でやったというのは
2:04:51	何か基準に返って、
2:04:53	基準に沿った形でやられてるんですか。
2:04:59	こちらにつきましては中国電力の磯田です。
2:05:02	今回失な配合試験というところで
2:05:06	この
2:05:07	物性値の参加元となるような試験を取りに行くというところで、ちょっとまた、
2:05:15	そこまで
2:05:16	ばらつきが出るようなものじゃない、そういう試験でございますので、まずは 1
	キョウシタイというところで設定をしております。はい。ばらつきはあまり出ない
	からってということですね。わかりました。はい。以上です。
2:05:28	はい。以上です。
2:05:52	規制庁の服部です。それでは私から何点か、事実確認をさせていただきます。
2:05:59	まず 23 ページをお願いします。
2:06:04	この 23 ページの中程のところ
2:06:14	等改良地盤 1 から 3、
2:06:18	における採取用採取の代表性の説明があります。
2:06:25	これに対して、
2:06:28	どうして改良地盤 7 については、ここに説明をしないのかがわからないので、
2:06:34	改良地盤 7 についての説明がない理由を説明してくださいどうぞ。
2:06:41	愛知銀行の伊佐です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:43	こちらにつきましては申し上げます。ちょっとここは確かに記載が抜けております。
2:06:51	ですね、こちら、はい、27 ページお願いいたします。
2:06:59	今回防波壁逆T擁壁の
2:07:02	試験の結果をご説明するということで、ちょっと取水槽に関する
2:07:07	試験結果というところは、
2:07:09	少し次の、
2:07:11	データ整理をした上で次ご説明、次にご説明させていただきたいと考えております。
2:07:16	そういったところでちょっとこちらですね同じような、すみません記載が抜けておりましたが、
2:07:21	今回は逆T擁壁のみの説明という。
2:07:25	ことで考え、記載をさせていただいておりました。失礼いたしました。
2:07:30	規制庁のハツリですはいわかりました今回は 01 から 0
2:07:36	防波壁の①から③ということなんでしょうけども、
2:07:39	結局最後のところ
2:07:42	補足説明資料に移った時わあ、おそらく、
2:07:46	ここうに特化した資料になるのカー、それとも新規D、
2:07:53	新規施工数新規で、
2:07:57	新設改良地盤一式として、
2:08:01	そのまとめるのかにもよるんですけれども、
2:08:04	もし新設、
2:08:08	改良地盤としてまとめるのであれば、
2:08:11	1 から 3 だけではなくて⑦もう合わせて書く必要がありますし、ちょっとその、
2:08:17	今回その他資料なので、またこれをどのような形で補足説明書に持っていかってというのはちょっとまだ見えてこないところですのでちょっとここでは、今の、
2:08:27	説明で理解をしましたがけれども、ちょっとそこら辺はですねちょっと気をつけていただければと思いますよろしいでしょうかどうぞ。
2:08:35	はい。15 ページクリスです。はい。ありがとうございます。こちらにつきましては今後ですね、
2:08:41	その地盤申請の補足説明資料の中の
2:08:45	多分各社さん、後つけられている参考資料、改良地盤における補足という資料がございます。
2:08:53	そこにこの記載を取り込んでいきましてまた、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:56	その他の改良地盤の試験結果等も含めましてご説明をさせていただくというふうに考えております。
2:09:02	以上です。
2:09:04	規制庁です。
2:09:06	はい。わかりました。
2:09:08	それでは 27 ページをお願いします。
2:09:14	一応事実確認としては、
2:09:19	のコメントとしては室内配合試験について、手順、
2:09:24	配合計画、
2:09:26	プロセス等の詳細が明確になるように説明すること。
2:09:30	ということで、確認をしたいと思います。
2:09:35	まずですね、
2:09:40	しない配合試験をしてるんですけども、
2:09:43	その手順とカー配合計画。
2:09:49	試験の結果のプロセスとかそこら辺がですね、もう少し詳しく書いていただけないでしょうかというのがここでの確認の趣旨です。
2:09:59	例えば、
2:10:01	今回、地盤改良 1 から 3 という区分に対して、
2:10:06	供試体 1 と 2、
2:10:08	も、二つ使っていると、しかもそれを配合を変えているというふうな記載がありますけれども、
2:10:15	どのような目的で、どのように配合を変えているのか。
2:10:21	配合を変えることによって、何を設計値として確認したいのか。
2:10:28	ここら辺がですね、まずぱっと見て見えません。
2:10:32	ですので、
2:10:34	室内配合試験については、もう少し詳細にですね、説明をいただきたいと考えています。
2:10:42	レシピという言い方も手順ですね、という言い方もありますけれども、そういうところが少し不足してるのではないかなと思います。
2:10:50	そう、そうするとですね例えば 30 ページで
2:10:58	改良地盤 01 から 0、キョウシタイ 1 と 2 の赤線と黒線で比較してますけれども、ちょっとまた結果的にここら辺の大きな主旨は配合試験の
2:11:09	目的というのによってまた変わるかもしれませんが、
2:11:13	これで何がどうなればいいのか。
2:11:16	例えば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:11:18	キョウシタイ 1 にがー地盤改良 030102 を全部上回ってなきゃいけないのか、 そういうところも、その供試体 1 と 2 のそのは配合はどのように、
2:11:28	な目的でやら帰ってるのかとかそういうのもわからないと。
2:11:31	ここら辺に繋がっていきませんので、
2:11:34	そういった意味ですね、
2:11:39	この 27 ページのですね、
2:11:43	市内配合試験については、もう少し、
2:11:49	説明を充実させていただきたいと考えています。
2:11:53	配合計画っていう、
2:11:56	管背後。
2:11:58	常配合試験っていうと、例えばぱつとコンクリートが思い浮かぶと思いますけれども、
2:12:04	ご存知でしょうけれどもコンクリートの場合は、目標の設計基準強度があって、
2:12:11	その目標の設計基準強度に対して、真水比の関係式で大体セメント量を決めて、 それに対してその骨材とか再骨材とか、
2:12:22	添加剤とかどういうふうにするかっていうのを決めていくというそういうプロセス がありますよね。
2:12:26	今回どういうプロセスでこういうふうな、
2:12:29	市内配合試験をやっているのかコンクリート等、同じとは思わないんですけれども、 そういうところがですねちょっとわかりにくいなということでもありますので、
2:12:40	先ほどの、
2:12:42	コメン等の主の趣旨というかその記載としては一番最初に言ったことになりま すけれども、もう少し詳細に、
2:12:52	説明いただきたきたいと考えていますがよろしいでしょうかどうぞ。
2:12:56	はい。中部電力の伊佐です。はい。ありがとうございます。
2:13:00	そうです 27 ページのところですね今回
2:13:05	逆転劇の改良地盤、1 から 3 というところで、3 層に区分されているというところ でここでちょっと、
2:13:11	複数の配合す。
2:13:14	言わないといけないのかなということで、ちょっと配布を少し変えてみたというところ、 また
2:13:20	羽鳥さんが言われた通りですね、ちょっと今回と違って、今回、下、
2:13:25	土を対象に、改良していくものになりますので、やっぱり実際にそこで出るかどうか っていう確認もございますので、今回の震災背後試験機をやったということになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:36	そういったですね何を目的としてそれを踏まえてどういうふうに
2:13:41	考え方でやっていたか、手順プロセス。
2:13:45	いうところへの、
2:13:46	もう少しわかりやすくはい。拡充してご説明させていただきたいと思います。
2:13:51	以上です。
2:13:52	規制庁の羽鳥ですはい。もう少し具体的に何でか言いますけれども
2:14:00	それだけっていうことではないので、包括的持っとくしっかりと、私が例示出した以外も含めて説明いただきたいんですけど。
2:14:09	例えばキョウシタイをどうやって作ったか。
2:14:11	コンクリートであれば、モールに入れて、
2:14:18	ガシャガシャガシャットとあれして、固めて業者を作るんですけど、
2:14:22	実際その地盤改良わあ、今ある現地盤に対してその間隙のところに注入材が入っていくということですので、それを模擬するような、その供試体の作り方で、
2:14:36	多分何だろう。
2:14:39	どこかの規格基準類に基づいてやってれば、そういうのも載ってると思うんですけども、そういうのも少し引用しながらですね、手順とかそういうところを、
2:14:52	も含めてですねちょっと詳しくに記載していただきたいということなので、今言ったようなところだけではなくて、
2:15:03	規制庁が一がですね、実際やってる方はわかっているけど規制庁側は実際、現地行って見てるわけでもないし、例えばセンコーですと写真とかが載ってたりとかね、
2:15:16	試験機の写真が載ってたりだとかもうちょっと工夫されてるようなところもありますので、そこら辺を含めてですね、ちょっとこの室内試験、
2:15:24	については詳細に記載していただきたいという趣旨でちょっと長くなりましたが、よろしいでしょうかどうぞ。
2:15:31	はい。中部の久米田です。はい、承知いたしました。
2:15:34	例えばですね 23 ページをいただけたら表 4-3。
2:15:41	がございましてここ先ほど言われたような、どういった作り方をするかというのは、おっしゃる通りで試験規格基準がございまして。
2:15:49	これに基づいて今回、実施をしております。
2:15:52	ちょっとこういったところですね
2:15:55	無双作った供試体の写真だったりとかですねちょっとそういったところも、
2:16:00	少し

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:03	説明しやすいに少し考えて、ご説明させていただきたいと思います。以上です。
2:16:09	規制庁のハツリですはいわかりました。
2:16:11	それでは 31 ページをお願いします。
2:16:16	この(エ)のところの密度及び間隙率の間隙率の考え方なんですけれども、
2:16:22	とか、
2:16:23	改良地盤①から③の間隙率についてはって書いてありますけれども、
2:16:29	これというのは、
2:16:31	地盤を改良した後に、
2:16:34	なお残っ、そこに、の間隙にもう 100%その充填材が回るわけではなくって、
2:16:42	ある程度間隙が残ってる。
2:16:46	ので、その残った間隙の率を観劇地盤改良体の間隙率と言っているということ でよろしいでしょうかどうぞ。
2:16:56	はい。中部電力の伊佐ですはい。ご理解の通りだと思います。
2:17:01	やっぱりですね。
2:17:02	間げき率 0 っていうのは、
2:17:05	できなくて
2:17:07	今回支援者結果までってこういった、
2:17:10	値が出てきたというところでございます。
2:17:14	規制庁のハツリですはいわかりましたそうするとまあ、埋め戻しの間隙率よりは必ず、必ず少なくなる小さくなるということはまあ、それでわかりましたということ ことで、
2:17:24	それを踏まえて、現地盤の間げき率 0.45 を用いたとあるということは、
2:17:31	間隙率を 0.45 にした方が保守的だということでこれを用いたというふうにも読み取れるんですけれども、
2:17:37	その通りでしょうかどうぞ。
2:17:39	はい。中国電力の伊佐です。はい。
2:17:43	ご理解の通りでございます。
2:17:45	こちら管理比率というのが有効解析上と言いますと、この地盤の体積弾性係数にかかって参ります。
2:17:54	こちら実態としてはほとんど管理技術が少々変わろうがあまり結果に影響はないんですけども、ちょっと大きいほうが保守的というところ。
2:18:04	また密度もちょっと値戻しの三つを設定しているというところで、もちろん
2:18:09	整合しているのかなというところでちょっと 0.45 という値を採用いたしました。 以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:16	規制庁のハツリですはいわかりました。
2:18:19	解析よく解析をやるときに、改良地盤は液状化しないんですけど、
2:18:25	体積弾性件数を求めるのに管技術がいるんですね。
2:18:30	それをどうやって設定するかっていうところをここで書いてると、その影響は少ないんだけど、何か
2:18:37	改良地盤の間隙率が、
2:18:40	解析的にどうどういうふうな意味合いを持ってるんだらうっていうのちょっとわかりにくかったんですけど。
2:18:46	図、
2:18:48	体積弾性係数を求めるために必要だということで理解しました。その際に、観月が大きい方が、
2:18:55	弾性係数が小さくなるのかな。
2:18:58	やわらかくなるってことですかね。
2:19:00	そういうふうにとらえておけばよろしいでしょうかどうぞ。
2:19:04	はい。はい。その通りでございまして解決表ずっとあまり影響ないですけども、結果が少し保守的になると。
2:19:12	そんなことになります。以上です。
2:19:18	すみません、中国でもそうです。失礼します。いたしました。はい。ご理解の通りでございます。
2:19:25	規制庁のハツリですはいわかりました。それと中ほどのところで先ほどから説明があったんですけども、括弧Bの2行目の辺りですね。
2:19:34	室内配合試験で確認されたS波速度 $V_s$ は、設置許可段階で示された瀬、S波速度、括弧表4、
2:19:43	5を十分上回ることを確認したからって書いてあります。
2:19:46	当初、これ一はちょっとわかりにくいんで、ほしない配合試験で確認されて生産速度 $V_s$ の後ろに(4)、表4-8って書いて欲しかったんですけど、
2:19:58	ずっと読んでいくと、表4-8じゃないなあって思っています。ここで比較しようとしているのは、表4-8にある数字に、
2:20:08	0.4を掛けたものと、表4-5を比較している。
2:20:12	ということで理解してるんですけどそれでよろしいでしょうかどうぞ。
2:20:17	はい。中部電力の伊佐です。はい。
2:20:20	一番保守的に評価した場合は、そういった形になるかと思います。
2:20:24	この0.4というのがこの文献で示される数値であって、今回、
2:20:34	逆に大きなところではこれ、どういった値なのかちょっと、
2:20:37	なかなか書きづらいなというところでちょっとそこはすみません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:41	記載があんまりきちんとできていなかったところがございます。
2:20:44	以上です。
2:20:46	規制庁の服部ですすみません、少しちょっと不親切かなと思います。
2:20:51	あくまでも上回ることを確認したって書いてあるなら、
2:20:55	いろんなところを、規制庁側が計算して、何か表を作って、比較表を作って確認しなくても、
2:21:05	わかるように、何と何と比較してるから、これでOKですみたいな形で示していただければですね、
2:21:15	まず、そんなことを読めばわかるでしょってのはその通りなんですけれどもできればですね、わかりやすさの観点セキ説明性向上の観点からですね、
2:21:25	こういうふうの上回るとか、そういう比較してる時は、何か一覧表か何かで記載していただけると、パッと見て、読みやすいかなと思うんですがいかがでしょうかどうぞ。
2:21:39	はい。中国電力のヨシツグです。コメントいただきました
2:21:44	先ほどのやつも含めまして、わかりやすさの観点からこの辺りは修正をさせていただきます。
2:21:54	ただ、規制じゃないですけど、ちょっと言ってる話と多分、いろいろ今まで言ったこと、前段として関係していった頭の方ちょっと整理してきたんですけど、
2:22:05	そもそもが、そもそもですよ、この室内、
2:22:09	配合試験を位置付けて、施工試験、
2:22:13	もう、
2:22:14	変わりなんですよ。
2:22:16	その代わりは何かっていうと、
2:22:18	あれですよ。
2:22:19	確認ですけど、
2:22:21	これ、新設じゃなくて、
2:22:23	既設の地盤改良に関して言えば、
2:22:26	それは、
2:22:29	施工試験とかその後すでにサンプリングされたものでやられた物性値を使ってるんですよ。それで、公認試験がありますがここに設計をしますと、それは間違いないですよ。
2:22:39	それが一番、
2:22:40	ポピュラーのやり方ですよ、一般的な。
2:22:42	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:44	今回も本来そういう位置付けであったものの、まだ施行が間に合っていないので、それは室内配合試験、
2:22:52	を使って、
2:22:55	設計をしますっていうのが、とびあのやり方。
2:22:58	次々の出そう、そうしたときに、じゃあこの品質確認試験との関係性は何かっていうと、実際には設計の、今みたいなたてつけであったとしたならば、
2:23:10	基本的には、
2:23:14	この 39 ページで書いてある 6 号の 3 のところって、
2:23:18	設置許可との比較。
2:23:21	だけではなくて、
2:23:23	公認試験の、で使ってる物性値との比較ということも必要になりますよねだから、設置許可で担保したものと工認で担保してるもの。
2:23:31	あくまで、どちらもある程度残務精度を高めたけども詳細設計段階の相違をしない。
2:23:38	試験は、ただ、現地で売ったものと比べて本当にその通りなってるかっていう、施工確認。
2:23:44	ということになるんで、両方確認することになるんですよ。
2:23:50	ね。そういったときに考えていって、
2:23:53	そうすると、そういう位置付けのものとして、従来あるべき。
2:23:59	姿っていうか、設計のプロセス、またはその下、施工管理のプロセス、
2:24:06	の位置付けがあるわけなんですけど、それとあと今、違うことをしようとしてる。
2:24:11	そうですね、いわゆる設置許可のものを使おうとしてるからね。
2:24:15	そうしたときに、考えたときに、これらの関係性をある程度しないと、
2:24:22	何か全部宙ぶらりんになって、
2:24:25	基本的にその関係性が明確じゃないっていうこともあるからここちょっと、
2:24:29	わかりやすくちゃんとどういうふうに、本来どういうあるべきなのかという本質論から考えて、今、
2:24:39	中国電力としてはどういう方針なのかっていうのをちょっと明確にしてその考え方とその妥当性をちゃんと考えていただいて、
2:24:47	だからいいんですっていう我々に、が理解しやすい説明プロセスを整理していただきたいのが一つ。
2:24:55	もう 1 個、
2:24:58	レセ。
2:25:01	傾き、傾斜とか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:03	いう問題も、また今回も確認しなきゃいけないとは思っていますが設置許可についてですね。
2:25:10	そうした場合は、剛性が高い方が、
2:25:13	やっぱり平和平均は小さくなるとは普通ですね考え方として、
2:25:18	一方で、
2:25:19	瀬谷中川でいいのかつつた時に、
2:25:23	行った時に問題があるのは、実績。
2:25:27	でき上がったものが硬いわけです。
2:25:30	ね。
2:25:31	オカたいといったときに、何が問題になるかという瀬の設計の中で確認しなきゃいけない行為としては、当然
2:25:40	膨張での安全性を、
2:25:42	タップしてるものは、地盤改良案くそなんかもそうだけど、地盤改良も一つですよ。
2:25:48	そうしたときに、この地盤改良はある部分止水性能とかある部分も深さ的にはあるのかもしれないけど、そういうことも踏まえていったときに、この地盤改良下の破壊領域、
2:26:00	どうあるべきか。
2:26:03	という観点も出てくるわけですよね致酔性とか、
2:26:07	またはその安定性という観点。
2:26:10	安定性という観点で考えていったときに、
2:26:13	その地盤改良のその損傷、
2:26:17	いわゆる、
2:26:18	引張破壊センター破壊っていったって、通常の地盤と同じ扱いとしてはそうなるわけですけど、
2:26:23	剛性がかたいほうが応力は、
2:26:27	大きくなる、地盤の変形部周辺の地盤の応答変位法的に考えると、1次元で計算しますから、地盤変位はそれはあまり変わらないものと、
2:26:37	して、
2:26:38	そうそう。
2:26:40	落ちてくる、地盤の変位へ、地震応答の変位は変わらないとしたら、
2:26:45	当然剛性がかたい方が、
2:26:47	地盤改良の内の、
2:26:51	地盤応力が大きくなるわけだから、
2:26:53	例えばせん断、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:55	とか引っ張り、
2:26:56	とかいった、その共同に関しては、
2:27:01	剛性が高いほうが応力なる。
2:27:03	で、一般論的に考えれば、
2:27:06	厳しくなるわけで、だから、そう考えると、必ずしもその、
2:27:10	Vsを低めに設定した方が安全側とは言い切れないんじゃないですか。
2:27:16	そういうことも踏まえていったときに、だから、
2:27:20	ある程度、
2:27:22	今回、
2:27:23	今のこの従来の設置許可のものを使えばいいのか。
2:27:29	すべてフコクの施設の安全性を確保できているといえるのか、それともこのできるだけアズイズのものを考えた方がいいのか、厄介なのは、そのあと、
2:27:40	当然、今服部が言ったようにですね配合試験でやったものを使って、
2:27:46	実際に実施工すると。
2:27:48	セコヤさんたちは、
2:27:50	配合試験出られた。
2:27:53	もともとあった、試験結果だけではなくて、当然
2:28:01	27 ページの、
2:28:04	あれですね、S波速度、これを上回ると人間として使用となります。大体スズキ建設会社そうなさると思うんですねそうするとさらにまだ、
2:28:14	その不確かさが増えちゃうような気がするんですね。
2:28:17	この辺、どう整理していくかって考えないと、最後に、
2:28:22	設計結果を、がなかなか、
2:28:28	判断できるまでに時間かかっちゃうんじゃないかとそそうかなりケースが増えたり整理しなきゃいけないと思うので、やはり最初の前段のこの条件を決めるところである程度、
2:28:39	決めておかないと、
2:28:41	やたらと今後ですね、
2:28:45	その設計結果が出てきた段階で、
2:28:48	もっとケースが増えたり、また、もう条件設定を見直さなきゃいけないとかいうとまた全然スケジュールが変わっちゃいますんで、
2:28:56	ここはちょっとですね、もう少し、
2:28:59	練り直していただいて和智我々ですね、規制側もどうあるべきかってのちょっと整理しますけど、こちらの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:29:07	審査とポイントとしてどうあるべきかってのは、もう一度しますがこちよっと慎重に審査しないと、お互いにそちらとしては整理、準備ってことになりますけど、しないと。
2:29:19	実際の詳細設計の計算が、
2:29:22	出た段階で、
2:29:24	かなり
2:29:25	苦労することになるかなと思いますが、いかがでしょうか。
2:29:31	はい、中国電力のヨシツグでございます。
2:29:34	おっしゃられる通り、ここの防波壁については上の躯体はもちろんなんですがグラウンドアンカーと改良地盤というのはその設備と地盤としての健全性を確認すべきものでございます。
2:29:46	で、傾斜について言えば、我々が考えていた当初のやわらかいものなんですが、おっしゃられる通り剛性が上がってくれば、そこに応力が集中してですね、
2:29:56	そもそもの改良地盤としている期待しているその支持機能ですとか止水性とか、そういったところの、
2:30:01	悪影響ではないですけどそういったところの懸念があるというのはよく理解いたしましたので、
2:30:06	まず、その点を踏まえるのとあと実勢工場ですね、やはりばらつきという、フタツカ主査という観点で、こういった設定値をまずは設けて我々として深津様の
2:30:20	ばらつきっていうのを考えるのかと、設計の中でと、そういうのが重要だと、理解いたしましたので、
2:30:25	まずちょっと持ち帰りましてここは慎重に検討させていただきたいと思います。以上です。
2:30:35	中国電力清水です若干補足させていただきますと先ほど最後にありましたVS現地のVsにつきましては、から今回できました室内試験のVsが必ずしも現地に出るとは思っても正直思っておりません。
2:30:49	ただこれをどういう設定していくかっていうのは先ほどの文献の0.4なのか、今後、この辺は試験をしていこうと思っておりますのでそのデータで設定していくのか、ちょっと悩ましいところもあろうかと思っております。
2:31:01	その辺をですね今回この品質確認の方法とか項目ということで資料を交わしておりますけど、考え方は我々なりの整理はできると思っておりますけど、なかなかそういった具体的なところはですね、その辺のデータがない中ではですね非常に難しいと思っております。
2:31:21	なのでまずはですね、今回室内試験で整理したものをまずは工認の段階でどう設定していくのかというのをちゃんと明確にさせていただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:30	先ほどの品質確認の項目については、現地とそれから室内試験の設置許可での値工認での値、現地での値でこの三つ巴をですねどのように、
2:31:41	整理するかというところですね、ちょっと頭の体操をしてですね、
2:31:45	後のケース数がですね膨大になってですね確認事項がいっぱいにならないようにですね我々なりに規制庁さん側にですねご提示できるようにですねちょっと考えていきたいと思います。以上です。
2:31:57	規制庁の江崎です。よろしくお願いします。多分もしかしたら下限値。
2:32:02	と条件違って、
2:32:05	範囲の中に入ることがっていう話かもしれませんし、この辺どうすべきか設計と施工踏まえてですね。
2:32:14	その辺はちょっとまた、整理した上でまた説明ください。よろしくお願いします。
2:32:22	はい。中国電力清水です。了解いたしました。
2:32:28	規制庁の服部です。それでは細かいところを何点か確認させていただきます。
2:32:33	31 ページのところまた戻っていただいて、
2:32:38	今回
2:32:41	阿部ら、
2:32:42	の文献を参考にしてるとということなんですけれども、この文献の中
2:32:52	使われてルー、今ここで使われてる図の4の中には、泥炭と粘土になっていますと。
2:32:59	これは先砂礫とか、差し付けの、
2:33:04	ものもこの文献の中にはあるんでしょうか。どうぞ。
2:33:11	はい、中国製に会社です。
2:33:14	この文献上では、この2種類の吐出材料のみが記載をされております。
2:33:21	以上です。
2:33:23	規制庁のハツリですわかりましたちょっと確認したかったのは、操作歴系のものの結果等、粘性時計のものの結果があって、難燃性どこ系のものを選んだかという、
2:33:35	改良された地盤はどっちかちゅうと資材に近いということで、そっちを選んだのかなっていう結論を期待はしていたんですけど、
2:33:43	そういうことではないということなんですね。これしかないということなんですね。どうぞ。
2:33:51	はい。中部電力の保田です。はい。そうですね。今回、改良体というところで、現地のVS業者のVS、その関係が
2:34:01	示された文献として今回こちらをちょっと引用させていただきましたちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:05	そういったところろまでまだちょっと見つけきれていないというのが現状でございます。以上です。
2:34:12	わかりました。そうすると、
2:34:15	この泥炭と年度の試験を引用することが一適用性があるのかということについては、
2:34:24	ちょっと私の考えはさっき述べてしまったんですけど、
2:34:27	中国電力としてはどうやって考えてますかどうぞ。
2:34:34	AAは1億電力アイザワです。
2:34:37	と、こちらにつきましては
2:34:39	一つはご指摘の通り、
2:34:42	あろうかと思えます。一方で
2:34:45	現地のVsと京写のベースの違いは何かという考えたときに、
2:34:53	その現地の方は例えば、
2:34:55	また割れ目であったりその配慮の不均質性だったりそういったところで、低くなるというそういった結果がここに表れているのかなと思っております。
2:35:04	そういう観点で考えますと、単年度というところではなくその改良地盤、
2:35:11	若干、観点からいきますとこの文献でも一つそういった、この関係をご説明できるかなと思っております。
2:35:20	すいません中国電力のヨシツグでございます。
2:35:23	あと、あわせまして
2:35:25	現地との違いということでございますので、海路地盤に限らず、いろいろなちょっと文献を含めて確認をさせてもらいたいと思います。以上です。
2:35:41	社長のハツリですはい。わかりました
2:35:44	でもこのなんだろう。
2:35:49	実際に市内不介護試験でられるえさ速度は、
2:35:54	実際の現地で測ったVsとは、
2:35:58	返りがあるので、何らかの補正をかけなきゃいけないので、その補正をかけるため補正値をどうするかっていうことでこの文献を持ってきてるんですね。
2:36:07	だから、それについても、何かまだ、
2:36:10	いろんな文献を調査した上でまた変わる可能性もあるっていうことですか。それともこれの下限値の0.4を用いようとしてるんですか。どうぞ。はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:36:23	今回求められているというのが
2:36:26	超音波によってS波を求めているやり方というものが、現地とどうなのかというところが一つの課題だと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:34	江藤改良地盤に限らず例えば岩盤の現地のPSと、その供試体をとった。
2:36:42	伊佐の超音波と、そういったところで、
2:36:48	試験方法としての妥当性というのは、そういったところの改良地盤に限らずに説明しているものの文献も確認できるんじゃないかということで、ちょっともう少し幅広く確認したいと思います。で、
2:37:01	実際の設定値の考え方についてはそれらの、先ほどありました上限値下限値というものがあると思いますので、もしもう一度整理をしたいと思います。以上です。
2:37:11	規制庁のハツリですはいわかりましたこれをそのまま使うのではなくということだけわかりましたまた今後、説明を聞き確認したいと思います。
2:37:20	あと 33 ページお願いします。
2:37:23	ちょっとこれはちょっと、もう事実確認なんですけれども、基本的に今回ワーキング論としては、設置許可申請書に記載された、
2:37:33	まず、共同特性なり、物理特性なりを使うという結論になって、
2:37:39	出る。
2:37:41	と思ってるんですけれども、
2:37:43	表 4 の中のところの、
2:37:46	減衰定数能上限値だけわあ、今回の配合試験で決めます。
2:37:54	設置許可申請書に記載されたっていう記載がここにはないので、
2:37:59	今回の配合試験で決めますというふうに見えるんですけれども、
2:38:04	これだけを、
2:38:06	今回の配合試験で設定するという理由が何かあるんでしょうかどうぞ。
2:38:15	はい。中国電力の伊佐です。はい。
2:38:18	それにつきましては再生、今回ですね考え方としては、
2:38:23	布石オカで示した、
2:38:27	1 を使って、
2:38:30	もう概ね試験結果と同じような、
2:38:35	ひずみ依存特性がやられたのかなと思っておりましてそういった記載等、ごめんなさいなので正しくはちょっと、
2:38:41	他の設定根拠と同じような記載が社長に正しいのかなと思います。
2:38:49	以上です。
2:38:50	規制、
2:39:09	何でこうなのかなという事故が資料に対する事実確認ということなので、思いました
2:39:15	上限値って、今回の業者 1 と 2 出られてないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:19	何でかなってというのはそういう素朴な疑問でちょっと確認をしました。
2:39:41	規制庁の服部です 38 ページをお願いします。
2:39:45	これはちょっとご相談に近い話になるかと思うんですけども、
2:39:49	前回 38 ページのところには、
2:39:52	役割等、
2:39:55	品質確認項目を紐づけるような表があって、それを表 5-3。
2:40:03	のところで、品質確認項目等、試験規格を見つつ、ひもづけることによって、役割と試験規格が紐づくような、そういう資料になっていたかと思います。
2:40:15	今回それが表の 3-1 に移ってるということで、理解はしているんです。
2:40:25	わかってしまえばそうなんだろうと思うんですけども、
2:40:28	前はそっちの方が見やすかったんですけども、あえてここで抜いたのはそうだろうなと思ってんですけど、
2:40:36	ここに入れた方がわかりやすいかなっていう考え方もありますし、
2:40:40	1 回位書いたことをまたここで二重に書くのもまた資料としてはどうかなっていう考え方もありますので、
2:40:49	パッと読んでいった限りでは前回の方が読みやすかったなっていう感じなんですけれども、中国電力としてはどのようにお考えかなと思うんですが、ここに入れてくださいということではなくて、
2:41:00	3-1 の方からここに紐づけるということであればそれはそれで結構ですし、ここに入れた方が見やすいのかなっていう考えであれば、22、20 記載になってしまいますけれども、
2:41:11	わかりやすいと思います。書いて欲しいし、そこら辺の考え方だけちょっと確認させてください。どうぞ。はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:41:20	衛藤。
2:41:21	ちょっと記載の方は考えさせていただいて、確認項目と、なぜそれで試験規格、どういった試験をやるのかってところの、
2:41:32	わかりやすさという観点でちょっと工夫をさせていただきたいと思います。以上です。
2:41:37	市長のハツリですはいわかりました。特にコメントとして書いてこれを適正化してくださいというそういうことは言いませんので、少しご検討いただきたいということだけちょっと述べさせていただきます。
2:41:58	規制庁の服部です私からは以上ですけど。
2:42:01	他に、細かいところで、本日の資料の内容で確認したい点がある方お願いします。
2:42:10	よろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:20	規制庁の服部です特にないようですので、今回のヒアリングの内容について、中国電力側から追加で何か
2:42:31	説明しておきたいことがあればお願いしますどうぞ。
2:42:41	はい。中国電力のヨシツグでございます
2:42:44	説明としては以上でございます。
2:42:47	規制庁のハツリですはいわかりました私ちょっと細かいところを確認したんですけど、全体の構成も変わるかということで、
2:42:55	必ずしもコメントが反映されないこともあるのかなあとちょっと思ってますけれども、ちょっと
2:43:03	そのコメント管理表との間、大きくこの構成が変わると、今まで聞いたこととかこうやってくださいねと、例えば添付と紐付けてくださいねとか、そういう話も、
2:43:15	なくなっちゃうのかなと思いますので、少しそこら辺は考えていただいて、
2:43:22	考えていただいて、適宜対応していただきたいと考えていますがよろしいでしょうかどうぞ。
2:43:28	はい。中国電力のヨシツグでございます。コメントと、資料、説明も含めてですね、次回、ご説明させていただきます。以上です。
2:43:37	規制庁のハツリですはいわかりました。特に
2:43:41	こちらからの事実確認がなければこれで終了したいと思いますのですがよろしいでしょうか。
2:43:46	よろしいですね。
2:43:48	はい。それでは本日のヒアリングを終了いたしますどうもありがとうございました。
2:43:53	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。